

昭和9年(1934)設立

財務省許可 社団法人 昭和經濟会

昭和經濟

第60巻6号 21年7月

創立75周年
創刊60周年

国会図書館永久保存

Manager Association of Japan

〔時局論壇〕 世界を担う知の拠点に
〔時局論壇〕 政治の安定には なお時間

浜田 純一
中西 寛

昭和經濟 21-7月号

昭和23年6月24日 第3種郵便物認可(毎月1日発行)
昭和25年10月19日 日本国郵便物取扱所承認番号1797号

Showa Economic Study Association

企業家・経営者団体

財務省 本省許可

社団法人

昭和經濟会

事務局

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000・3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showa-ec.or.jp/>

e-mail info@showa-ec.or.jp

伊能忠敬

昭和9年(1934)設立

財務省許可 社団法人 昭和經濟会

昭和經濟

Manager Association of Japan

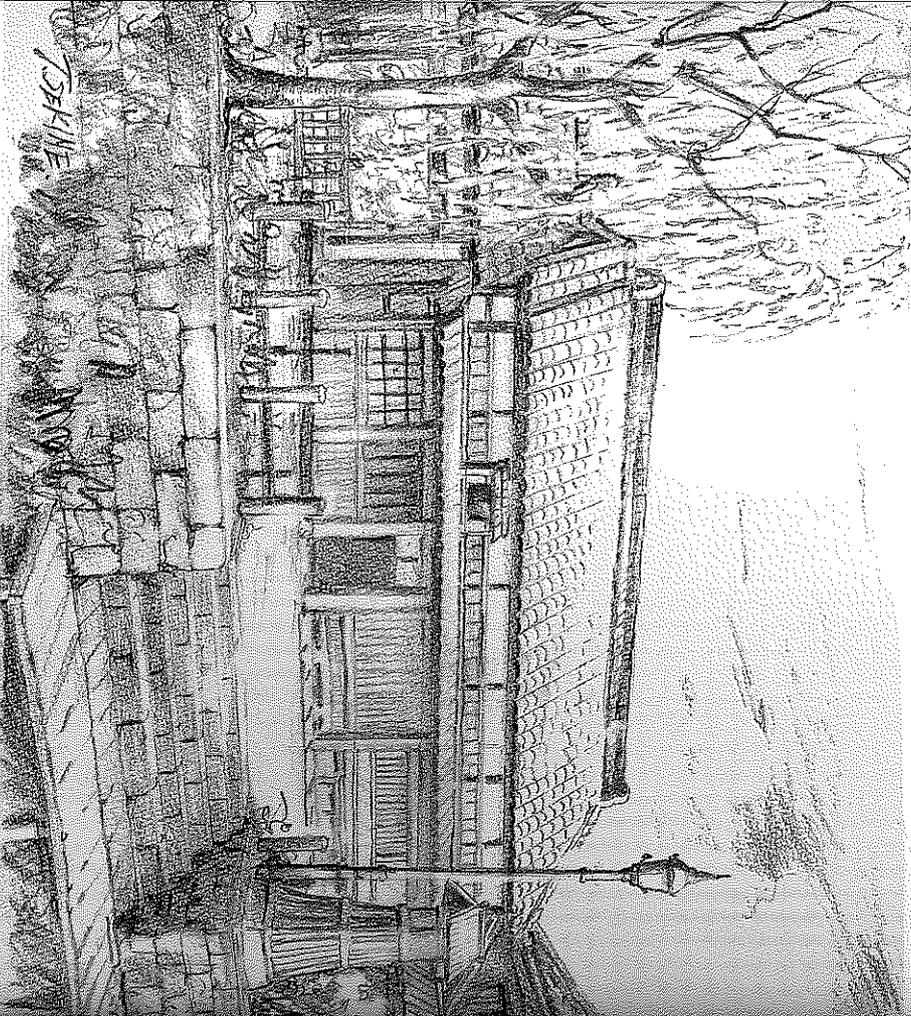
第60巻6号 21年7月

創立75周年
創刊60周年

国会図書館永久保存

〔時局論壇〕 世界を担う知の拠点に
〔時局論壇〕 政治の安定には なお時間

浜田 純一
中西 寛



伊能忠敬 旧

昭和經濟 21—7月号

昭和25年6月24日 第3種郵便物認可(毎月1回1日発行)
昭和25年10月19日 日本国行政郵便物取扱承認番号1197号

Showa Economic Study Association
企業家・経営者団体

財務省 本省許可

社団法人

昭和經濟会

事務局

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2

TEL 6820-6000 ・ 3271-8846 FAX 3271-3104

<http://www.showa-ec.or.jp/>

e-mail info@showa-ec.or.jp

◇◇◇◇◇ 七月号・目次 ◇◇◇◇◇

巻頭言 ……佐々木誠吾…(2)

〔時局論壇〕
『世界を担う知の拠点に』…浜田 純一…(11)

〔時局論壇〕
『政治の安定にはなお時間』…中西 寛…(15)

萎縮する世界経済 ……山田 伸一…(21)

わが回想記 ……堀江 忠男…(38)

ゆれるロシア情勢と
世界経済の混乱 ……石川 一洋…(40)

鈴木喜佐人さん ……井浦 康之…(51)

後記随想 ……佐々木誠吾…(77)

昭経俳壇 ……遠藤 蘆穂…(72)

近時雑感 ……佐々木誠吾…(85)

物事、難しいことはない ……井浦 康之…(88)

人生園歩
「アメリカは
スピーチの国だから」…ラング岩本…(83)

暑中広告 ……(85)

表紙絵のことは ……関根 常雄…(88)

人間社会は今まで幾多の歴史的試練を経て、その存続を得てきました。

その間、私達は経済社会の生活の中で、自然科学への洞察は驚きを以って、文化科学への触発は閃きを以って発展に寄与してきました。科学技術の進歩と開発は人間の英知をもつてこれに臨み、文化科学の啓発と振興は人間の情操をもつて、限りなく高めてゆかねばなりません。

歴史のいかなる発展過程においても、常に人間の尊厳をうたいあげ、自由と平和が約束される豊かな人間社会の存続が、私達の目的であり実践であります。

昭和経済会は、伝統を重んじ、時代の変化に機敏に対処しつつ、この普遍的な理念のもとに、日常の企業経営と経済活動を通して、さらに公私経済の発展と推進に役立つ啓発、協力、親睦の団体として、その使命を果たしてまいり社団法人 昭和経済会

社団法人 昭和経済会の案内

創立と趣旨

會員制の企業家、経営者団体で我が国の「公私経済の発展助長と會員相互の連絡並びに親睦を図る」目的で、一九三四年(昭和九年)五月十五日創立され昭和十四年、大蔵省から社団法人の許可を受けました。

主な活動

- ① 會員相互の啓発、親睦、協力の内外の経済、政治、文化、學術の定期講演会
- ② 政府、関係省庁への要望と提言
- ③ 専門委員の法律、税務、経営相談
- ④ 海外派遣留学生奨学金の活用
- ⑤ 月刊「昭和経済」の発行

巻頭言

(GMの破産申請)、急速な再生なるか

佐々木誠吾

リーマンブラザーズの破綻、ゼネラルモーターズの破産申請は、栄華を究め、人間のあくなき欲望が追い詰めた、成熟の果てのアメリカ資本主義経済の互解であります。その影響は世界に及びました。

アメリカ合衆国は建国以来、幾多の試練に耐えて成功と繁栄の道を歩んできましたが、獅子身中の虫、とでも云いましょうか、金融工学の爆発的な蔓延でこの二十年、拜金主義が乱舞して世はバブルに酔いっづれ、己が蝕まれていることに気づかず、事前に腐敗墮落の芽を摘むことができませんでした。あまつさえ時の政權は、これを黙認し関心を外に向け、事あるごとに戦争を仕掛け、大英帝国の歩んできた植民地主義を踏襲するかの如くに、貪欲、愚か三味に

生への足掛かりを見出すべく全知全能を駆使して奮闘中であります。アメリカがこければ世界がこけるという、今は地球全体がグローバルな経済構図の中で、我々はこの圏に於いても一國の暴発を対岸の火と安閑視しているわけにはいきません。

以前から幾度となく申していることでグローバル経済の傘下に収まる我々には、早晩、組織においても機能に於いても個々の職務と頭脳を生かし一体化して意思と政策決定を下し、安定した運営、強靱な経営を志さねばなりません。金融工学に狂奔し、リーマン然り、GM然り、アメリカで起きて世界に及んだ今世紀最大の事件にかんがみ、被害を最小限に食い止め、いままでの推積した汚物を吐き出し、清潔になつたあとの次の飛躍と発展に備えなければなりません。GMの破産は衝撃的でしたが、アメリカはこれを以つて歴史的な区切りとして終焉を告げ、災いを転じて福となし、今後に再生の

明け喜れました。建国の精神はいわずもがな

創立者の企業家精神、開拓者の精神をないがしろにし、己れの権欲のおもむくままに華美貪欲に過ごしてきた結果であり、メタボリックのなるままにあたかも心筋梗塞、脳卒中、糖尿病などの疾患をもたらし、大国としての素質を喪失し、而して自立、治癒の不能に陥つて破裂しました。

アメリカ資本主義産業の象徴たる巨大資本の金融組織、産業組織は創造的破壊と革新的前進を怠り、情性に身を置き欲望をむさぼる浅ましき姿になりはて、果ては次々と犯罪を起こして顧みることをしなかつたのであります。アルクヌが予測して警鐘した資本主義の崩壊は、資本主義の墮落と内部矛盾によつて惹起されることをいみじく演出したのが、自由と民主主義を標榜してきた巨大国家アメリカでありました。今、この深刻な事態と末路に気づいたアメリカは、自づから顧みて今新しき指導者のもと、再

新たな道を進んでいくことでしよう。アメリカの強さを發揮すべきときであります。自由主義、人権尊重主義を標榜するアメリカ国民が選択した道筋は、必ずや、しかも短期間で再起再生の目標を達成することでしょう。神のご加護あらんことを。(六月四日)

昨日、おもむくままに和歌を詠む

六月五日

私は学生時代から、俳句や和歌を詠むことが好きで、読書のほかに敢えて趣味と申せば手近かなものとしてこれを掲げていました。勿論、スポーツにも色々、且つ多大な興味を持って健康維持に役立ててきています。学生時代に身に着けたものは可能な限り持続させ、今日まで連綿として続けております。例えば、高校時代、大学時代の教材は未だに広げてみると役立つことが多く、特に高校時代の英語を全て覚えた」とすると社会に出て外人と対等に喋れて、外国

書籍は難なく読むことができますし、さらには通訳として立派に勤めを果たすことも出来ま
す。高校時代の学習は大学以上に専門的な知識
を駆使したもので、況や大学受験に備えたもの
は何岡況やです。それ程に日本の大学教育とい
うものは教授も学生も附抜けが多く常識の域
を出ないものであり嘆かわしき限りでありま
す。大学生は四年間を遊んでばかりという
ことにもなるわけであります。このことは全て
の科目、研究分野に当てはまります。スポーツ
にしても同じことと言えるでしょう。私は、登
山、マラソン、水泳、体操と年相応に加減して
趣味を兼ねて訓練しております。心身ともに爽
やかな状態で毎日を過ごすことは、各自各様の
努力研鑽によるものという考えでおります。
和歌を詠むことは私にとつてこの上ない心
身の癒しとなつて、結果、積極的な旺盛な思考
を与えてくれるものなので、人生の道を進んで
いく上で力強い武器となつていきます。そのこと

ほしていただけたることもあるといふことです。
詰まり文学的表現をすると「感情移入」となつ
て、同じ舞臺に置き換えていただけたことも可
能となり得ます。そこでおこがましくも、「一
首々々ば、それだけで大きな内容と意義を持つ
てくることかあります。沢山詠んでありますが
そのようにお考え頂いて味わつていただけれ
ば本懐の至りだと思ふ次第です。巻頭言として
はさわりの部分だけにして、後は適当なところ
から後記隨想に回させていただきます。
.....
アメリカの威信をかけてGMの再生を期すオ
バマ政権
アメリカの繁栄の恥部をさらけ出しブッシュ
の時に皆崩れけり
戦争とさつりくの果てアメリカの先の道すじ
いかにあらんや
サブプライムてふわけのわからぬ商品を編み
出し世界にばらまきにけり

に就いて人さまは「よくほんほど次から次え
と歌が出てきますね」といわれますが、本當に
そうなんですかねえ。しかし自分では決してその
ように思つて詠んでゐるわけではありません。
兼好法師の徒然草ではありますが、「物言わ
ぬは腹ふくくるわざなり」というわけで、思
ふこと、感じたことを腹藏なく素直に和歌に託
すことによつて、ストレス解消にもなつてい
るわけです。
例えばゴルフの好きな方がコースに出て、広
い緑の世界めがけて白球を追ひながら玉を打
ち込んでいくのと全く同じ心境なのです。しか
も安上がりです。その上、さばさばして、
イラつくことかあります。そこで詠んだ一首
には、私の世界が広がつていきます。思いが詠み
込んであります。そして幸いなことに、個人的
な感情と思索と体験が、詠まれる方の思いと姿
勢によつて、受け入れていただくことがあつて
その方の思いと世界に対して大きく有益に及

サブプライム・ローンてふ詐欺商品をあみだし
て世界経済をかたす金融
グリーン・スパン、ブッシュはどもに人心をみ
だして悪しきイデオロジ残せり
アメリカの経済社会をぶちこわし逃げるブッ
シユとグリーン・スパンよ
リーマンの破綻に詠みし和歌百首ふたたび詠
みてさもつなずきぬ
アメリカの開拓精神と博愛に目覚めてすすむ
オバマ政権
如てがえる釜にのんびり身をひたす日本経済
の構ふすがたよ
暴落におびへ苦しむくにたみに国の借金八百
兆とは
日本の国の借金の帳消しに秘策なまきまもつ
ろうにすぐ
暴落に資産のめべりにあえぐ身の窮地をこえ
てゆかば先あり
株式の先を見越してそこがたく上値を追ふは

確信のもと

思惑にうすまく相場のひとのさが見つぎせ

んと兜町を行く

山をこへ谷をわたりて人の世を相場の世界も

かくにひとしく

かさ雲をいただきにおく富士やまのおちゆく

夕日に朱鷺トビいらにもゆ

春たけき奈良のみやこをはなれきてうれひを

ふくみ阿修羅たてます

むらさきにけむる聖井のはてをみてものおも

いにけむ阿修羅ながきみ

喜多方の町ゆながむる磐梯のうすくれないに

そびゆ夕日に

村雨のけむるあすかの法起寺のゆふべに鐘を

きくはかなしき

高値より四倍も買える原油をば今買ひおけと

政府にも申す

谷を買ひ山を売りつこのみちの掟にそひて

ゆくはきびしき

G Sの株の底値の六〇ドル野地の今また一五

〇にも

原油にも底値を上げていくけはい投機資金の

まだぞろの感

貧富の差なほ新興国にひろがりて社会に不安

をかきたてにけり

日米の経済回復のさきがけを得て世のなかの

さだまりを得ん

くにしたみの栄えこそあれ日のもと四海の浪

にさらされる身よ

からつちの力にたよる世のひとの経済素縮に

おびゆこの先

からつちのこの発展ぶりを予想だにせず驚き

のうつしみなれば

からつちの広さに十三億のくにたみの世界を

動かすちからきほひて

四千年ひとの歴史をきざみきて波乱にすぎし

からつちの民

ふくらだの瀧をめぐりて朋友と幼きころをか

たる旅の夜

今はなき芳野の村の小学校まなひ舎の日のあ

つきまぶたに

はつなつのだかはらに來てうぐひすの高啼き

をきく朝あけのそら

あさなゆな聴くベートルマンの第五番田園交

響曲をしのぶだかはら

さはやかに行くあさぎりのだかはらの田園の

曲おもひしのびて

いざゆかんひかりあふるるたかはらのみどり

にもゆるはつなつのひよ

新緑にかがやく那須のたかはらに5000坪

の地にやかただてなん

武蔵野のおもかげ残す森にきて雑木林のいず

こにもあり

さえずりの雑木林をそぞろいく母も女房もわ

れも手をとり

不況よりはや回復の道を行く経済人のたくま

しき日々

G Sの株の底値の六〇ドル野地の今また一五

〇にも

原油にも底値を上げていくけはい投機資金の

まだぞろの感

貧富の差なほ新興国にひろがりて社会に不安

をかきたてにけり

日米の経済回復のさきがけを得て世のなかの

さだまりを得ん

くにしたみの栄えこそあれ日のもと四海の浪

にさらされる身よ

からつちの力にたよる世のひとの経済素縮に

おびゆこの先

からつちのこの発展ぶりを予想だにせず驚き

のうつしみなれば

からつちの広さに十三億のくにたみの世界を

動かすちからきほひて

四千年ひとの歴史をきざみきて波乱にすぎし

からつちの民

ふくらだの瀧をめぐりて朋友と幼きころをか

オバマ氏につきそふクリントン長官の華麗ゆ

るかぬ外交の先

北朝鮮核開発の脅威にも毅然の姿のたのもし

きかな

美と教養かねてかひあり長官の不動の姿勢に

ふるいたつなり

狼藉のイラン北朝鮮の先に見る国際社会の孤

立化のみち

さつしようを忌み嫌ふこそ宗教のほまれとか

かぐ国こそよけれ

あなかなし互ひにいがみ殺し合ひ富をえんと

て救わるるなき

原爆の実験をして無頼漢北朝鮮の先のあやふ

し

国連の決議にそむき狼藉の世は北朝鮮にてこ

りけるかな

G Mの百年の栄えの華麗なる姿むなく消え

失せにけり

続く

.....

先般、私は急遽、国益を重視した商議のため
ニューヨークへ旅立ちました。

想起すれば二十五年前、一九八四年五月、折
りしも薫風そよぶなかを、私は社団法人昭和経
済会創立五十周年の記念行事の一つとして、当
会主催で四十一人からなる経済使節団を組ん
で北京に渡りました。当会顧問だった参議院議
長の安井謙氏の親書を以って、中国との経済交
流促進の端緒を切り開く目的でありました。当
時、中国からは副主席の王躍庭氏一同の出迎え
を受け、中国国際貿易促進委員会の大会堂で、
両国の参加者が懇談しました。

北京では相互理解を深め、大なる成果を収め
てきましたが、そのことがつい最近のことの上
うに思われてきます。今日の日中間の盛んな文
化交流と、拡大した規模の貿易関係、賢固な経
済関係をみると感無量であります。今日の中国

建設は、もとより新たな永続的な雇用創出につ
なかるものでもあります。日本の意図はこれに
日本の新幹線の技術を売り込もうと云う商議
団を編成し、これをサポートするものでありま
す。関係各業界を代表するメンバーを側面から
サポートしようとするもので、日本を代表する
当会の公益性を大いに發揮して行くものであ
ります。こうした会議に臨む片道十三時間の
飛行、過密な日程、大きな時差ホケなどで帰国
後、私は不覚にも体調を崩し、しばし調整の時
間が割かれてしまいました。

日本の新幹線については、国内での新規建設
は既に限界がきております。アメリカばかりで
なく世界各国からはクリーン・エネルギ一の鉄
道建設に熱い目が注がれており、世界は日本の
新幹線技術に大きく期待しています。既に台湾
には日本の技術が寄与して建設が完成し、稼動
してはいますが、この実績を踏まえ、更に世界に
市場を求め、高速鉄道建設の日本の異名を世界

の経済発展を大観するとき、当時の中国は経済

の解放改革に躍起となって、国民に対して啓蒙
啓発していたときは隔世の感があります。今
や経済大国として、世界に躍進する中国の姿に
は驚嘆を覚えずには居られません。

ところでニューヨークでの商議団の使命と役
割、そして目的では、格別な思い入れがありま
す。新生を期すアメリカでは今、壊滅的な被害
を受けた経済立て直しに挑戦中ですが、オバマ
政権下で拡大する財政支出に呼応して、その一
端を荷負う鉄道建設計画が、大いに注目され、
水面下で先進各国の熾烈な受注獲得作戦がひ
そかに繰り広げられています。

ニューヨークから周辺都市はもとより、内陸
部への高速鉄道を建設して、アメリカは新社会
の構築に臨もうとしています。画期的とも云う
べきオバマ新大統領の誕生で、アメリカ再生の
清新で大胆、規模壮大な国家プロジェクトの実
現に挑戦しようとしています。その一つ、鉄道

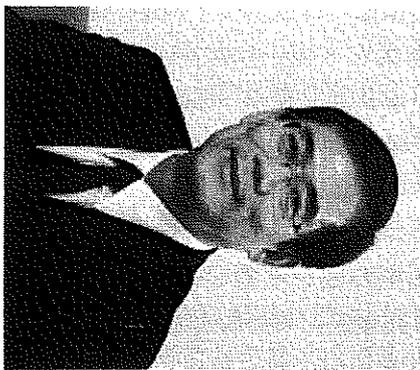
に冠たるものとさせるべき絶対のチャンスを
あります。高速鉄道の売込みでは既に、フラン
ス、ドイツなどが競合する相手としてのきを
削っているのが実情です。日本独自の優秀な技
術と性能を訴え、先ずはアメリカへの売込みに
優位に立たねばなりません。しかも鉄道は永続
性があり、世紀にまたいで存続活躍するもので、
尚更その意義は大きいものといわねばなりま
せん。信用と真価を収めつつ、更には広大な平
地を持つ中国大陸、アメリカ等、これからの開
拓余地は計り知れません。平和な新幹線外交が
問われてきます。成果を挙げるべく奮起奮闘す
る所以であります。

帰国後、植田重彦、いづみ夫妻から小職に小
冊が届いていました。早稲田大学名誉教授で歌
人の植田重雄先生が若き頃に詠まれた歌集で、
初期の作品「鎮魂歌」であります。既に三冊し
がなく、汚れていたり随所に先生の書き込みが

世界を担う知の拠点に

東京大学総長

浜田 純一



「時局論壇」

あつたりするので、いづみさんが一枚一枚これ
を綺麗にコピーして新しいものとして手作り
のまま送ってきて下さいました。深い朱鷺色の
表紙にも、深い思いがこめられています。心の
こもった丁寧な贈り物に感謝しています。
「鎮魂歌」の序文に歌人の大御所、窪田空穂
先生と、都筑省吾先生が執筆されて目を魅きま
した。窪田先生とは面識がありませんが、都筑
先生とは語り尽せない程の数々の思い出があ
ります。

都築先生は当時、短歌結社、「柳の木」の主
宰者であり、私は学院時代の二年間先生の教鞭
に拾いました。当時既に高令な先生には云い知
れぬ風格があつて、淺見淵先生と同様、私は畏
敬の念を以つて接し、授業に出ています。社
会に出てからも時候の文を取り交わしていま
したが、十年ほど前に九十七歳で天に召されま
した。あの学院当時の頃、植田重雄先生は三十
才前半の頃の青年だったわけでありませぬ。

ご遺族の、いづみさんから頂いた先生の歌集、
鎮魂歌をこれからじつくりと読んでいきたい
と思っております。

複製す鎮魂歌集の手作りを手に先達の
みたまやすきを

四月に東京大学総長に就任し、今後六年間の

大学運営の責任を担うことになった。国立大学

法人化以降、激しい変革の流れの中にある東大

は、法人化に伴う学内体制整備と多様なチャレ

ンジを経て、新たな改革の局面を迎えようとし

ている。

私はこれを「木を動かす」段階から「森を動

かす」段階に入つたと形容している。法人化と

いう土壌に新しい試みの木を部分的に植え込

む段階を越えて、今後は組織としての基盤と構

造を全面的に強化するという意味で森全体を

動かしていく必要がある。法人化後の仕組みや

その可能性を存分に活用し、東大の底力を最大

限に引き出し持続可能なものとする課題が、任

期中の取り組みのバックボーンとなる。

このような認識で私は「森を動かす。世界を

担う知の拠点へ」と題する所信を發表した。

「世界を担う知の拠点」とは、世界最高水準の研究を維持・向上させるといふ従来の目標のさらなる展開である。国民に支えられる大学として、東大は日本そして世界へ貢献することを通じ、日本に対する信頼と敬意を高める役割を担わなければならない。また教育によつて、卒業生が至る所で人類の未来を支えていく公共的な役割を果たさなければならない。

国際経験豊かに

教育では「タフな東大生」をいかに育成するかという観点から、さらなる改革を進めたい。現実の東大生は決してひ弱ではなく、国際交流やボランティアなど多方面で刮目（かつも）くすべき活動をする学生は珍しくない。しかし、グローバル化が進み社会の先行きはますます不透明さを増している。知力だけでなく、たくましいコミュニケーション力や行動力を備え

構成員の自覚と行動を促す思いを込めた。私が国立大学協会長に選ばれたことも、そうした東大の役割への期待と受け止めている。

旗艦大学には、日本の大学全体の発展をけん引する役割もある。将来を見通しにくく今日のような時代にこそ、大学が未来への確かな指針を示すことが求められる。日本社会が高い生活水準を享受し、また国際社会で重要な地位を占めてきたのは、明治以来知識を大切にしてきた結果だが、現在の日本社会は「知」のそうした価値を忘れてはいないか。東大は、そうした根本にかかわる問題提起や情報発信をしていきたい。これは未来の国力にかかわる。

大学の眼前の課題は、公的投資の問題である。経済危機対策の補正予算では相当の目配りがされたが、中長期的な大学の振興策は視界不良であり、恒常的投資はむしろ削減の恐れさえある。国立八十六大学の収入の中心である運営費交付金は、過去五年間で、小規模国立大学二十

人材育成のため、一層力を入れる必要がある。商業的ランキングなどでは評価され難い、こうした課題にこそ正面から取り組みたい。

「タフな東大生」づくりに大切なのは、構成員の多様性である。留学生の受け入れをさらに拡大し、日本人学生の国際経験を豊かにすることも大胆に進めなければならない。男女共同参画の加速も不可欠だ。家庭の所得階層など入学者の属性の偏りも指摘される。公正さが厳に求められる入試の見直しは慎重さを要するが、多様な学生受け入れのあり方は重要な検討課題と認識している。

旗艦大学の責務

所信の中で「旗艦大学の自負と広範な連携」を掲げた。東大は「世界を担う知の拠点」であり、日本の知の水準を高めていく重要な責務を負う。旗艦大学には、そうした覚悟を明確にし、

校余りが消滅するに等しい規模（約七二〇億円）が削減された。東大でも、人件費削減は限界に達しつつある。教員に対する支援職員の比率は海外有力大学の半分程度。海外のトップレベルの研究者獲得にも支障をきたし、熾烈（しれつ）になる国際間の国際競争のなかで、自助努力だけでは国際社会でのプレゼンスの維持さえ困難となる。国公立を超えて大学関係者が連携し、先進諸国並みの投資を求めていく必要がある。

グローバル競争を生き抜く人材を育成し、技術開発力を担保する学術研究を続けていくために、さらには「文明国家の証し」という意味でも、未来への先行投資として、少なくとも目標経済成長率と同等以上の規模の拡充が必要である。

公的資源配分を

「時局論壇」 政治の安定には なお時間

京都大学教授
中西 寛



消費税収の使途など、政府の財政問題をめぐっては、高齢者向けの社会保障に比重を置いた議論がされたが「安心社会」の実現のためには、それだけではあまりに狭すぎる。大学は若者から高齢者まで、幅広い国民にとっての知的・文化的・生活のインフラである。特に若年層にとって、教育の機会均等の揺らぎは、死活問題となる。

東大の研究者の調査では、年間所得が100万円超えと400万円以下の家庭では、大学進学率に二倍もの格差が生じる。東大は、年収四百万円以下の家庭に授業料を免除しているが、大学は若者を社会に送り出す学校体系の頂点にある教育機関として、若者や子育て家庭の声を代弁する責務がある。若者が安心して学べる社会に未来はない。高水準にある教育費負担の軽減策も含め、若者や子育て世帯の厚生のため公的資源の配分を強く訴えたい。

政府では、人口減少期を迎え、大学全体の規模を問い直す議論もある。日本の大学教育の質を国内外で保証するシステム強化も求められている。質保証に対する適正な評価、質を担保するための確実な投資を進めていく一方、質向上の努力や国民への情報公開を怠る大学は市場で退場を迫られることになる。

社会に投資を求めるのなら、大学界は、大学教育の質とは何か、財政支援を受けるに適切な水準とは何かについて、主体的な議論と情報発信を行わなければならない。自律性を備えた教育機関として、その地位に値する見識を示せるか、大学自身が問われている。

民主党の代表が交代したことで政局はいよいよ総選挙に向けた「最終局面」に入った。鳩山由紀夫新代表選出に至る経緯には批判もあったが、総選挙を目前にして党内対立を表面化させず、代表を争った岡田克也氏が執行部に取りこみ、また小沢一郎を代表より動きやすい立場で選挙活動に専念させる地位につけたことで、民主党は体制を強化したといえよう。

総選挙の時期は麻生太郎首相の決断にかかっているが、遅くとも任期満了の秋までには必ず実施される。

今回の総選挙の意義を問えば、大方が「政権選択」と答えるだろう。すなわち、自民、民主の二大政党の勝者が、小党と連立を組んで政権の座につくことが見込まれる。もちろん選挙後の情勢次第では第二党が連立によ

政策面の相違、不明確

つて政権にいたり、二大政党による大連立や政党再編による新党結成といった事態が起きたりする可能性がないわけではない。しかし総選挙の主要な意義が二大政党での政権選択となったことは確かである。

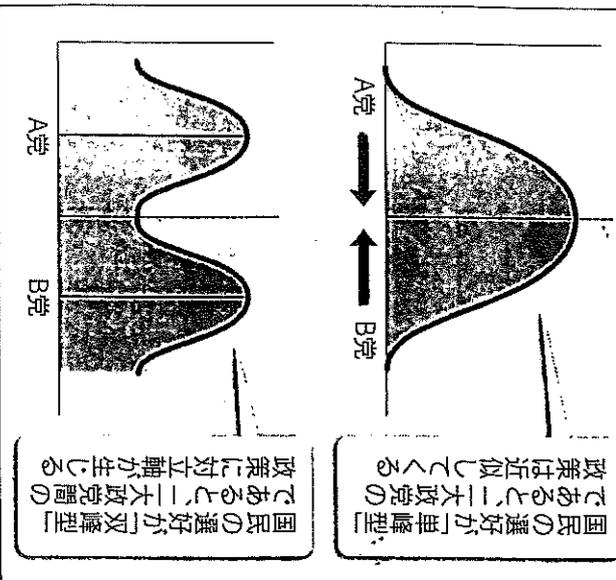
◇◇◇

選挙による政権選択は、従来の中選挙区制を改めて小選挙区比例代表制を導入し、自民党の恒久的な統治体制から脱却し、二大政党間の政権獲得競争によって政治を活性化することを企図した一九九四年の選挙制度改革以来の流れの一つの到達点といつてよい。のみならず明治以来の憲政史上でも、選挙で政権が交代したことはほとんどない。一九四七年の日本国憲法下での初めての総選挙で社会党が勝利して自由党と交代した例や、九年の総選挙後に自民党の宮沢喜一政権が非自民の細川護国連立政権へ代わった例があるが、前者は終戦直後の混乱期だったし後

促した。その時点で自民党は地方の利益を比較的大きく反映した「大きな政府で安定志向」、民主党は都市の利益をより強く反映した「小さな政府で改革志向」という色分けがある程度は存在した。

だが小泉純一郎政権の登場で事態は一変する。「改革」を旗印にした小泉政権は、郵政民営化や公共事業削減といったそれまでの自民党では考えられない改革に手をつけ、二〇〇五年の総選挙で「小泉旋風」を巻き起こして大勝した。従来の主張を奪われて守勢に回った民主党は小沢一郎氏を代表に担ぎ上げた。小沢代表は小泉政権下で自民党に見捨てられたと感じた地方層に訴える戦略を採用して〇七年の参議院選挙に勝利、参院の多数を握り「ねじれ国会」をもたらした。この事態に衝撃を受けた自民党は小泉改革路線を後退させて「格差是正」に切り替え、これと昨年後半の景気悪化以降は大規模な財

政治学者がウソが唱えた二大政党モデル



政支出政策に乗り出した。◇◇◇

二大政党の政策が近づいてしまつのは支持獲得競争ばかりのせいではなく、構造的な理由もある(図参照)。

一九九〇年代には今より政策の対立軸ははつきりしていた。五五年体制下の自民党は経済成長の果実を補助金や公共事業によって地方に配分する役割を担ってきた。こうした「自民党システム」に特に都市住民が不満を抱き、対抗勢力としての民主党の成長を

者は自民党分裂の方が決定的だった。その意味で今回の選挙は歴史的意義をもつはずだが、それにしては「天下分け目の決戦」を間近にした高揚感が国民に感じられなようにみえる。その最大の理由は、今回の選挙での選択がどんな政策的相違を生むか、国民にはイメージがわかないからではないか。実際、自民は自らの統治実績と民主党の頼りなさを、民主は政権交代の目新しさと自民政治の制度疲労を訴える、という以上の争点を提示できていない。両党は強く反論するだろうが、政策面での決定的相違は見えてこない。

日本には欧米や中国のような明確な階層対立が存在せず、あるいは国民各層の多様な利害のみである。従って各層への利益供与が政党として最も有効な選択となる。また、外交政策においても、通商を重視する海洋国家として、日米同盟に頼りつつ、幅広い国際協調主義を採用する以外に現実的な選択はありえず、根本的な相違は打ち出しにくい。

そのために両党は相手との相違を過度に強調したり、極端な公約を揚げたりしがちである。世襲制限問題などはその典型であろう。世襲政治家が多すぎるのは確かだが、今の日本では世襲以外の人材が政治家となる障壁が高すぎ、世襲政治家との競争が少ないことが真の問題であるように思われる。地盤をもたない新人が選挙活動をしやすくする方が、世襲政治家への中途半端な制限を設けるよりも本筋だろう。そもそも吉田茂の孫や鳩山一郎の孫が党首をしている政党が世襲制限と躍起になる運営をする危険性もある。しかし年金の税方式への切り替えを実施したり、沖繩の普天間基地移転問題で大きな転換を図ったりすることは、政治的に大きなエネルギーを必要とし、外交的反発を呼んだり党内の結束を危うくしたりしかねない。他方、選挙公約から後退して穏当な政策運営を行おうとすれば野党となった自民党から激しく攻撃され、それに今回の小沢代表のように主要幹部にスキヤンダルが起きれば一挙に追いつめられかねない。

民主党政権は政官関係の変化、すなわち官僚の腐敗を追及し、「埋蔵金」を発掘して財源にすることで斬新さをアピールできるかもしれない。これなら多数党の権限でかなりできるし、国民からも支持を得やすく、野党は反対しにくい。鳩山代表が言うような霞ヶ関の「大掃除」で成果が出る可能性はある。

ただしこうした方策は将来の日本の政治体制に大きな禍根をもたらしかねない。官僚組織

を議論すること自体、意味不明だ。

今や自民党が「景気対策」を掛け声にする一方、民主党は「生活が第一」と訴える。両者に相違がないわけではないが、国民全般には聞きがよい政策であることにかわりはない。食糧でカレシライスしかないことに不満を抱いていた国民が、もう一品増えると聞いて期待したが、つけ加わったのはライスカレだった、というふうなものである。味つけは多少違うのかもしれないが、どちらを選ぼうべきか、心躍らせるとは難しい。

それなら新メニューの民主党ライスカレ一をともかく一度食べてみようか。最近の世論調査で民主党への支持が自民党を上回っているのは、民主党政権を試してみようという国民の心の傾きを示していると解釈できる。

現時点で民主党主導の政権になれば、衆参両院で多数を握り「ねじれ」は解消される。しかしその時、自民政権との違いを印象づけよう

への大幅な介入は結果として官僚の政権への忠誠心を問うものとなり、官僚組織の中に民主党派、自民党派の派閥を生み、政権との癒着や政権交代に伴う行政の混乱をもたらす恐れがある。実際、政友会と憲政会・民政党が二大政党として競った大正末から昭和初期、官僚は二派に分かれ、最終的には政党政治への不信と解体を招いた。

では慣れ親しんだ自民党カレシライスの方が安心なのか。この場合、ねじれ現象は続き、衆院での三分の二以上の多数も恐らく失われる。自民党の売り物である統治実績も、安倍晋三、福田康夫と続いた政権投げ出しで説得力が薄れている。直近の国政選挙での勝利を理由に当面は乗り切れるだろうが、政局運営は次第に困難を増すだろう。

◇◇◇

かといって政党再編ではそれこそ政治が混沌状態に陥りかねないし、大連立はよほどの

萎縮する世界経済

NHK解説委員
山田 伸二

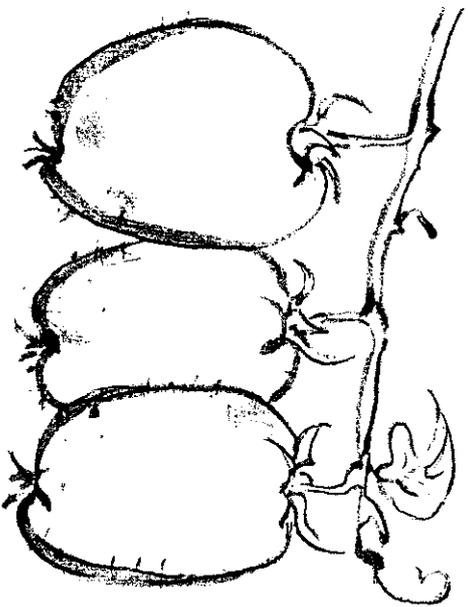


理事長 皆さん今晚は、本日はお元氣にお越し頂きます。恒例に、よりまして春の講演親睦会を開催いたします。本日はNHK解説委員の山田伸二先生をお招きしてお話を承ります。月形半平多の新國劇の「春雨じゃ濡れていこう」の台詞ではありませんが、夕方から少しばかり春雨が降り始めました。永井荷の名作に「ゆのあとさき」があります。この時期は大変うるおいのある毎日が楽しめます。私には山田伸二先生の講演のテーマを「不況のあとさき」と勝手に名付けました。ご承知の通り、大変な世界経済の激動期の波にさらされています。私どもは日本経済の激震、そのあとさきと言う意味をこめて名付けた次第であります。山田先生には懇切丁寧なレジュメも用意して頂いておりますので、それを拝見しながら、山田先生のお話を以ってご指導頂きましたと存じます。

山田講師： 久しぶりにお招き頂きまして

(京都大卒、同修士。専門は国際政治)

名分がないと成立しないだろう。結局、次の総選挙後に、政局が安定して力強い政権が生まれ、それは恐らく国民に受け入れられる。移行期とやらえ我慢するほかないだろう。かつての自民党内の派閥競争政治よりは、似たり寄つたりではあつても、政党間の切磋琢磨(せつさたくま)によつて国会での政策論争と行政監督を高めるよりほかに日本政治を強化する方策は考えられないからである。



作品 関根常雄



光榮に存じます。今年に入りまして講演のご依頼が増えて参りました。よく考えますと、景気が悪くなる、そういう仕事が増えるよう、人の不幸で飯を喰うというようなジャーナリストの上位を行つて嬉しいような、悲しいような状況であります。

実は、私はこういう場合は大変難しく苦手であります。と申しますのは、皆様方は生きたスペシャリストなので、私ごときの者が何か申しても「そんなことは知つてゐるわい、もつとちゃん」と勉強して来い」と言われてしまいますので、非常にづらい所はありますが、少しは勉強してきましたので、その成果をご披露して、皆さんのご叱責を賜れば幸いと思つています。

私に与えられましたタイトルは「経済の来し方、行く末」ということでありますが、タイトルを「萎縮する世界経済」と、少しおぼろおぼろしい表現にしました。それは後ほど紹介しますグラフをイメージしたものであります。先

ある程度ハンドリングできて、皆が想像つくという形で行つていつたと理解しています。

ところが去年の九月のリーマン・ショックで、全てが変わつてしまいました。世界の地図、世界の景色が変わつてしまいました。どういう風に変わったかと言いますと、世界同時不況というムードから、恐慌ムードに変わつてしまつたというところが最大のポイントだろつと思つております。

まず「恐慌」と言うのでしょうか。レジメのを用意して参りましたので、「資料1」と「資料2」をご覧ください。

先づマーケットについてですが、これが異状な動きを示しました。日経平均でも昨年の六月から十月にかけてたつた半分になつて七千円台を割り込んでしまいました。リーマン・ショックが九月で、その翌日の十月ですが、世界のマーケットも総崩れでした。この間、主な市場だけで九兆ドル、八百五十兆円の時価総額が消

つ今の状況はどういうことかというところをもう一度おさらいしまして、それではこれからどういう事になるか話をしようと思つており、ます。これからどうなるかということにつきまして、多分多くのエコノミストが言つて居ること、そんなに違いはありません。

結論から申しますと、今年一年は非常にモタモタとした暗い一年になるだらうと思つておられます。予想もつかないことが起きることも充分あると思ひます。ただ来年になったら、それでも一応の秩序を取り戻してくるのではないかなあと、これがまあざつくりとした見方であります。今の状況は、去年の九月から一変して世界が本当に変わつてしまいました。本当に驚くべきことです。今回の混乱、二〇〇七年の夏にヨーロッパの金融機関がサブプライム・ローンを通じて破綻したことがきっかけで表面化したわけですが、実はその後のプロセスといふのは、世界不況で、非常に具合が悪いけど、

えてしまいました。これがどの位の規模かと申しますと、日本とドイツのGDPを足した数字が一瞬にして消えてしまつたわけです。たつた一ヶ月の間に日本とドイツが世界から消えてしまつたといふことでして、これ程の大きな変化がありました。

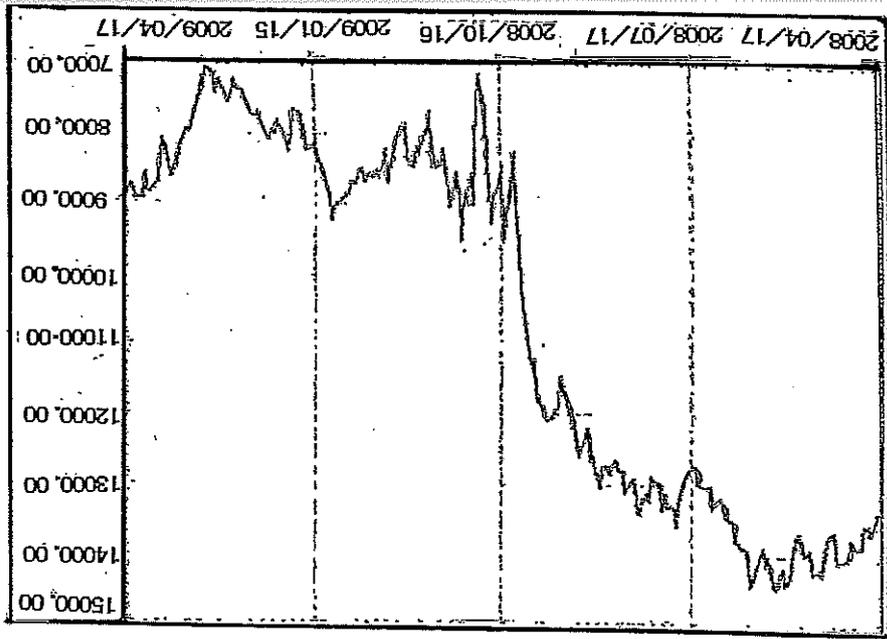
それから円・ドルのレートもご承知の通り、昨年のピークは一〇〇円でしたが、これが八七円と、二〇パーセントも下がるといふ状況であります。一日に為替が一〇円近く動くというふうな本当に信じられない状況でした。マーケットというものは、お金のやり取りをする場所であると同時に、経済の先行きを占う一種の体温計のようなものですが、明らかに体温計が狂つて壊れてしまつたといふ状態でありました。

本当に異常なマーケットで、これは当然のこととして実体経済にも大きく反映して、異常な経済時は異常な経済活動が繰り広げられてい

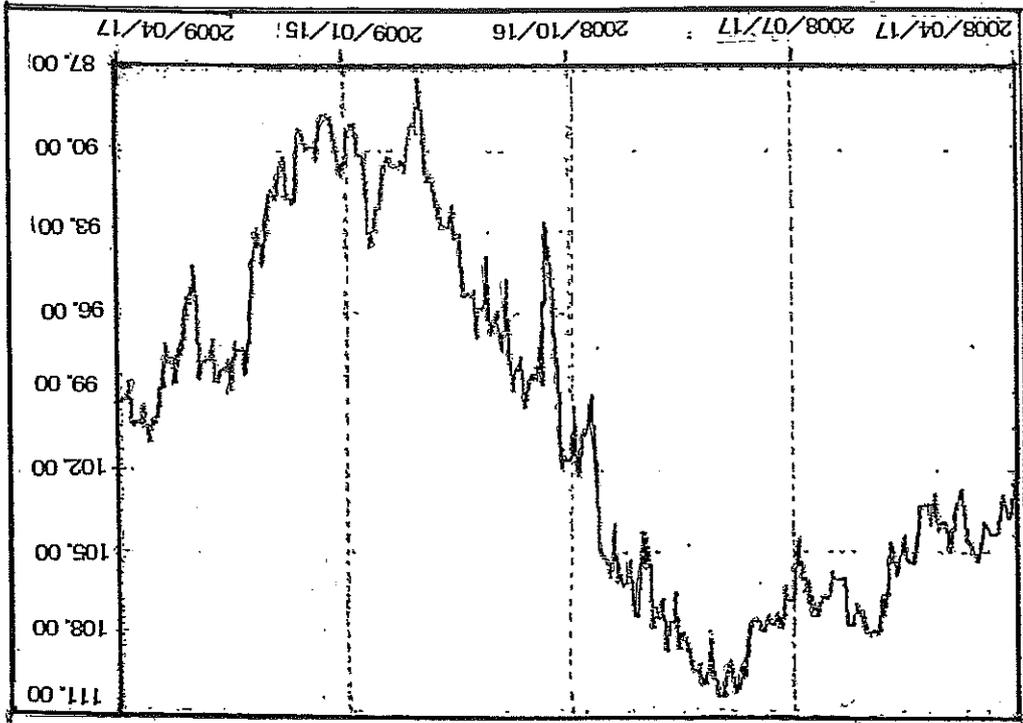
異常な市場

資料1

日経平均株価

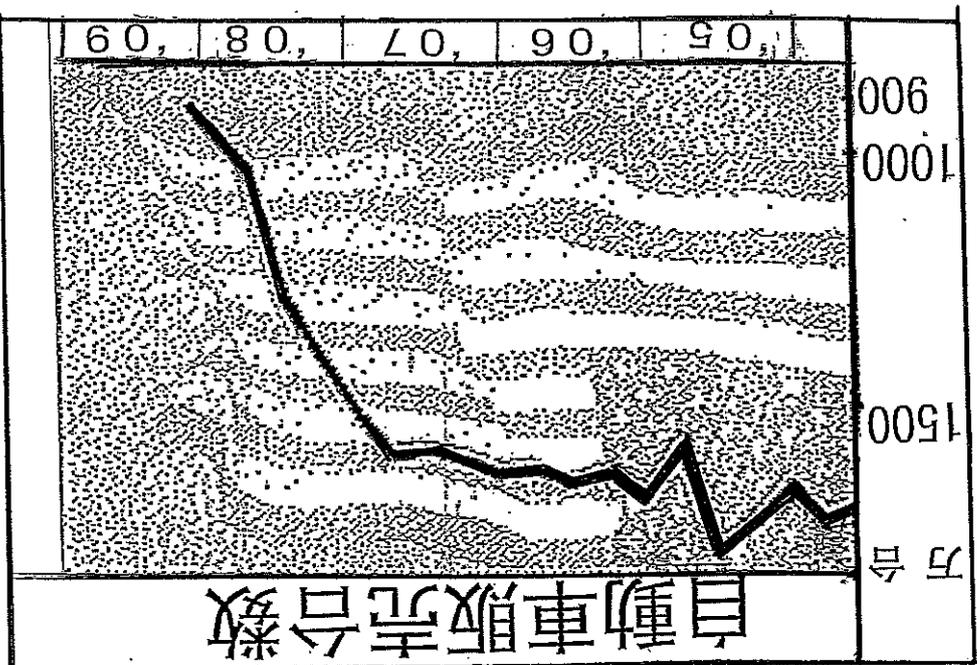


円ドル相場



異常な経済活動

資料3



「資料3」の自動車の販売台数は、アメリカのグラフですが、日本の落ち込みも殆んど同じようなペースで落ち込んでおります。直近で言っても一年前に比べて三十パーセントぐらい売上げが落ちてしまっています。私もこの仕事を始めていろいろな変化を見ましたが、普通は数パーセント、一パーセントか二パーセント動いたというところでピリピリしていたのです。ましてや十パーセント動くなどということとは、今まで経験した中で殆んど無かつたことでした。それが三十パーセント、非常に単純に言えば、サラリオンが給料を一度に三十パーセントもカットされるのなら、皆さんにしてみれば収入が三十パーセントも一度に落ちてしまったとしたら大変なことですね。それ程異常なことになっているというわけがあります。しかもそれが日本だけでなく自動車の販売台数からして、日本もアメリカも殆んど同じような動き方をしていると言っているのが一つのポイントであります。

「資料4」の輸出のグラフと生産のグラフを見ると輸出がとんでもない状況になっておりまして直近で言いますと、日本の輸出は一年前に比べて、とうとう半分になってしまいました。日本の産業というのは輸出と殆んど連動しております。ご覧のように生産のグラフ、これは鉱工業生産を示したものです。輸出が落ち込むと同時に生産活動も落ち込んでいきます。こういう形で非常に厳しい状況になっております。

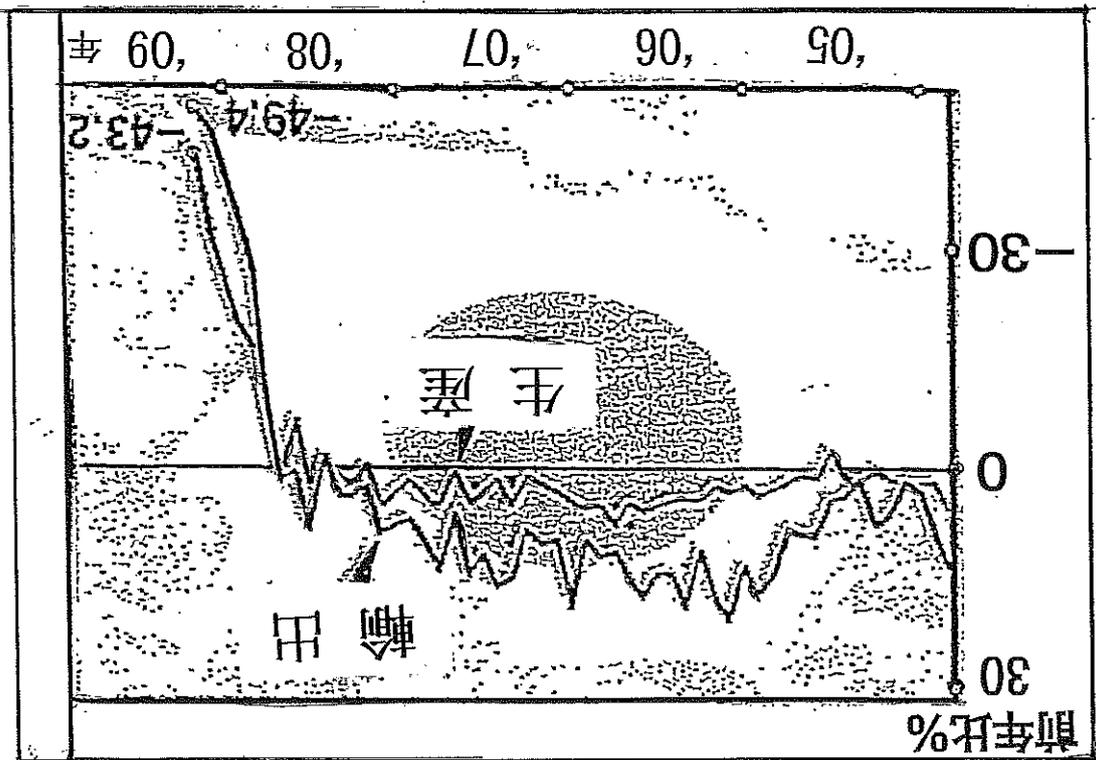
輸出が半分に落ちてしまつたと申しました。車もこれに合わせる形で、一月は生産活動が半分に落ちています。こんなことは全く経験のない出来事です。まあ纏々申し上げました。が、いづれにしてもこれまで全く経験のない出来事であり、しかも一九三〇年代の大恐慌以来、経験したことがない。逆に言いますと、一九三〇年代に経験したことを改めて追体験させられたと言ふ状態だといふことができます。

それでは今回の出来事が何故こんなことになつてしまったのかという原因です。単純に言いますと、世界的なバブルが破裂した結果、二つの問題があまり出されました。一つは証券化によつて金融バブルが世界中に広められてしまったことです。一種のマネー資本主義の歪や弊害を改めて見せ付けたということであります。第二点は、アメリカを中心として且つていた世界経済、アメリカ依頼の経済の仕組みが、いつまでもそんなことが続けられないと言つたことを見事に見せ付けたということ。この二つが最大のポイントだらうと思ひます。

実は私は問題が発覚した二年前の二〇〇七年にアメリカに目を奪われ過ぎていて、一年はサアライム・ロソンの問題についてです。火元はアメリカですから、アメリカに問題があつてアメリカ中心のメカニズムが壊れたというところでアメリカばかりに目が行つていたのです。

しかし、そうではなくて、問題はアメリカだけではなく、むしろアメリカではなくて世界中にあつたことに気がきました。その部分を良く見ていなかつたということを痛切に思い知らされたのであります。と言いますのは、リーマン・ショックが起こるまでは、対米輸出というものは対前年度比で、ずっとマイナスを続けておりました。しかし、アメリカ向けの輸出が落ちても日本経済はびくともしなかつたわけですが、つまり、アジアなりヨーロッパなり、他の地域に輸出ができたからです。しかしリーマン・ショックの後には全ての地域に対して輸出が落ちてしまいました。そこから全てが変わつていきました。何故アメリカ向けが落ちていたのにそんな風になつてしまつたのかと言ふことについては重要な事なので後程お話しします。問題はアメリカばかり見ていたのだけれど、実は世界全体に病巣があつたのだということを痛烈に思い知らされました。私は正直に言つて、その

資料4



点についてはその時まで良く判りませんでした。考えてみれば明々白々なことだったので

「資料5」に構グラフで示しておりますが、これは直近の世界経済の実質GDPの推察で

す。

一〇〇七年まで、つまり〇四、〇五、〇六、

〇七の四年間は、ほぼ五パーセント成長で世界

経済は達成しております。戦後の政界経済のア

ベリッジの成長率は四・一パーセントです。つ

まり四パーセント成長というのが普通のペー

スで、言ってみれば世界経済のアロアンス、

キャパシティだったところに五パーセント成

長という、とんでもない高度成長を迎えて、し

かもそれが四年間も続いたと、非常に大きなバ

ブルだった訳です。

丁度この頃、私はアフリカに行ったのですが、

あの世界で唯一取り残されたアフリカですら、

五パーセント成長を遂げておりました。世界全

部の地域が、日本を除いた世界全部の地域がこ

んなにみんなが成長して幸せな時期を起し

て来ているという事は戦後全く例を見なか

ったことでもあります。だから世界中が本当に陶

酔下に浸っていたのです。正にバブルであつた

のです。余りにもみんながバブルなので、結局

気がつかなくなつたと言ふことが、皮肉と言え

皮肉だった訳であります。

五パーセント成長を続けると言ふことは、明

らかにオーバー・シフトです。漫画の絵のよ

うに、事がオーバー・ヒートして行けなくな

っていたのであります。一年前は、どんな状態だ

つたかと言ふことを、皆さん思い起こしてみ

て頂きたいのです。一年前の皆の心配事は、食料

品の値上がりが大変な勢いで続いております

た。それから油の値段がどんどん値上がりして

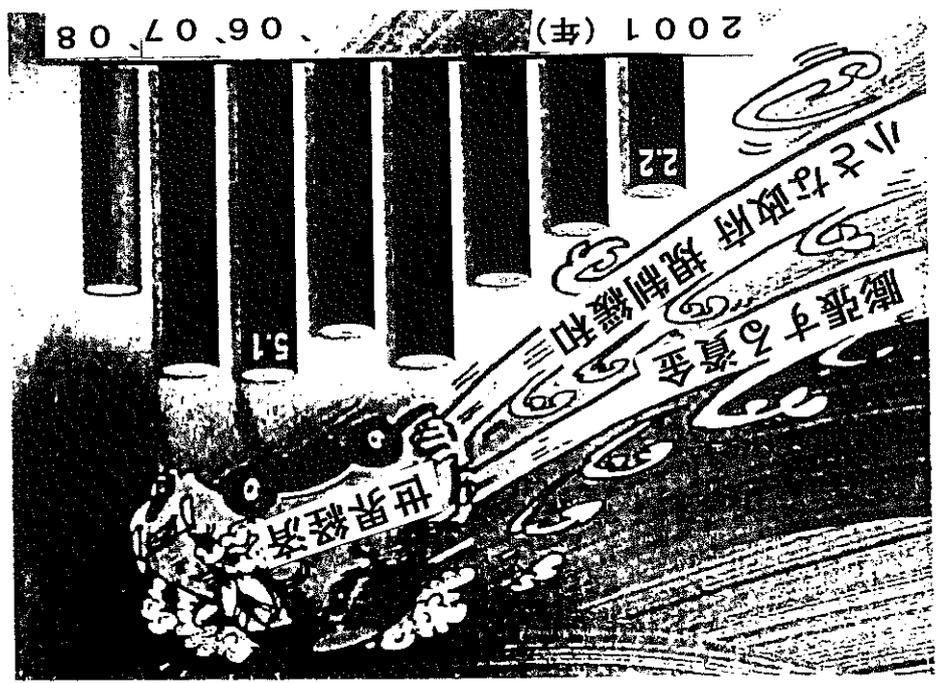
いきました。百五十ドル近くまで行つていま

す。むしろ皆さんは、そのことを心配していま

す。何故そういうことになつたかと言ふと、今申し

上げましたように五パーセントに突入して、こ

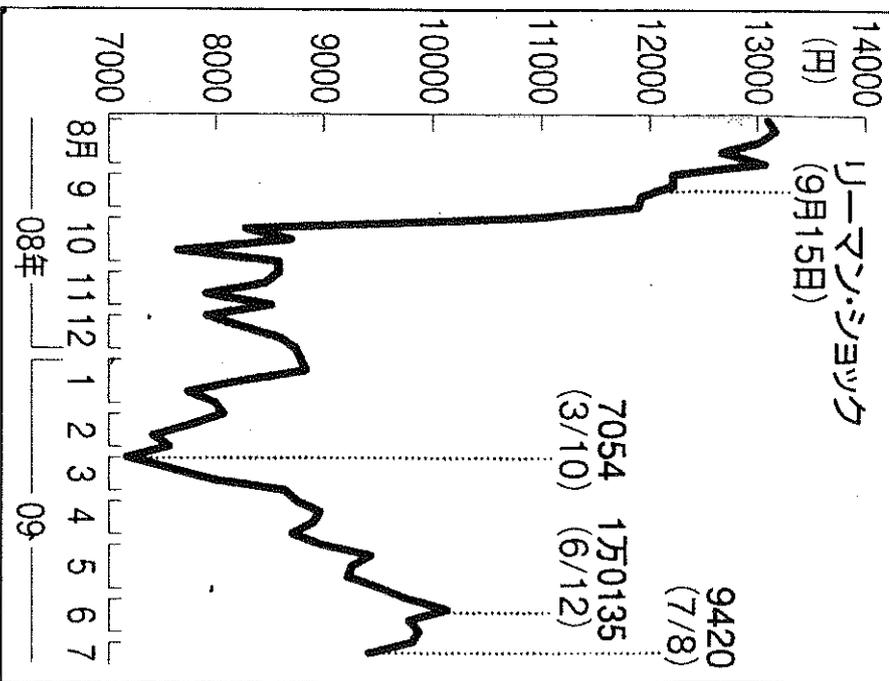
資料5

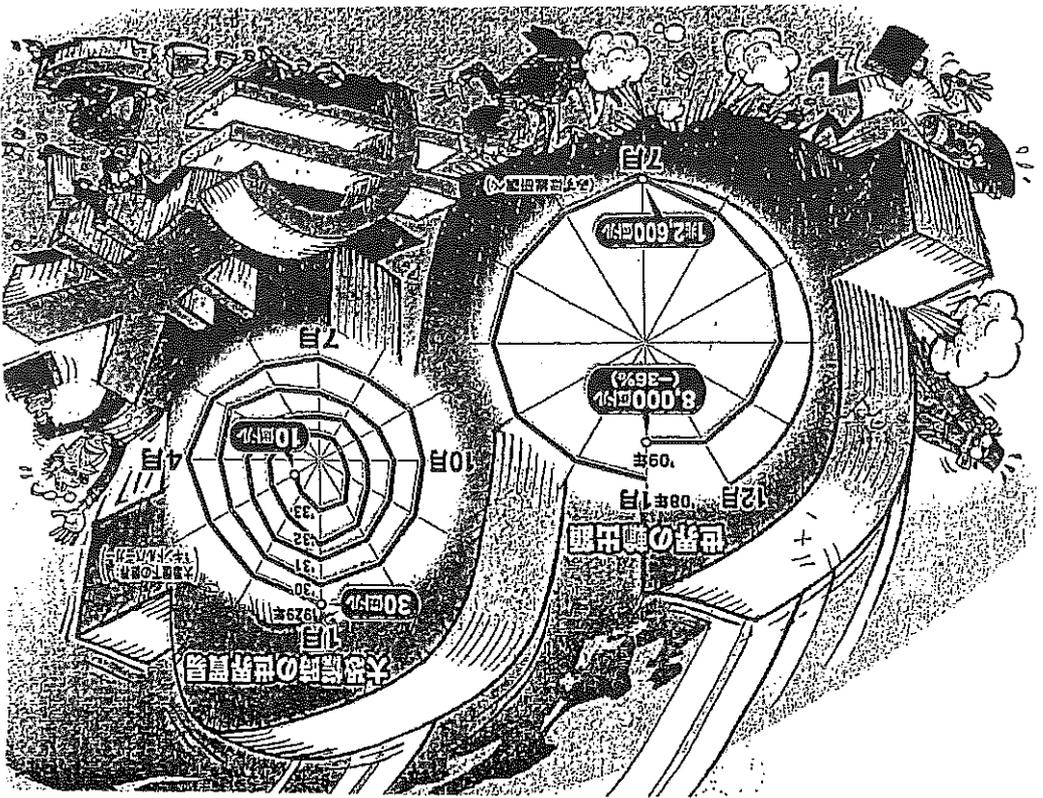


れが四年も続いたということ、世界経済の未曾
 有の繁栄が、これからもつと将来にまで続くの
 ではないかと言ふ期待が、皆んなに広がって行
 った訳です。
 当然のことながら、それだけの成長が続いて
 行き、中国や新興国の人たちが油を使うように
 なると、美味しいものをもつと食べられるよう
 になる訳です。となれば油は足りなくなると、
 食料品は足りなくなる、だから値上がりしたと、
 そういう意味では非常に合理的な経済活動が
 行われておりました。逆に言うと、それが異状
 だったということのシグナルだったことにな
 る訳です。結局世界は五パーセント成長をいつ
 までも続けるだけの余力は無い。つまり枠組み
 にはなっていないと言ふことが明らかにになり
 まして、それで見事に破裂したという、これが
 今回の問題の構図という風に申し上げても良
 いかと思っております。
 冒頭に申しましたが、二〇〇七年の夏にヨ―

ロッパでは問題が発覚して、サブプライム・ロ
 ーンに火が付いたということを考えてみます
 と、問題は世界規模で病巣が広がっていた言
 うことが明らかだったのですが、どうも実はそ
 の事が判っていないかった、だから皆さんも気楽
 にそのあとの時間を過ごしたということがあ
 ろうかと思っております。
 それではリーマン・ショックというのは何
 であつたのか、何が起きたのかと言ふことであ
 ります。ご承知の通り、リーマン・ブラザーズ
 というのはアメリカの五大都市銀行の内のナ
 ンバー4でありまして、これが破綻した。当
 初は政府が救済するだろうと皆んながタカを
 くくっていたら、もの見事に予想がはずれて
 破綻してしまつたということで、大パニックに
 なり、しかも翌日世界最大の生命保険会社、A
 I G、アメリカン・インシュアランス・グル
 ープも事実上破綻してアメリカ政府は管理下
 に入つていくといふ、全く信じられないような

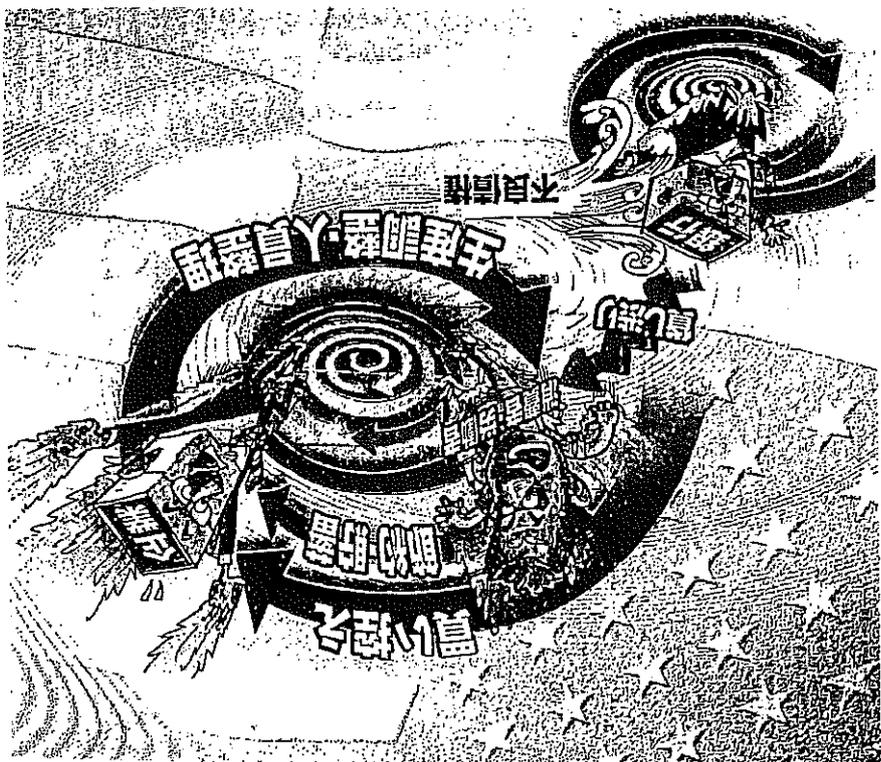
日経平均株価の推移 (終値ベース)





出来事が二日間の間に続きました。この日は、次から次へと大事件があったので恐ろしいことでした。これによってアメリカの投資銀行、五大銀行は一瞬にしてその形態を変えてしまいました。ナバー1のゴールドマン・サックス、ナバー2のモルガン・ステンレーは銀行持株会社になって、自由放奇な経済活動を放棄してFRBの庇護の下に入りました。このあとどうなったのかと言うことなのです。先般の話「資料6」と「資料7」をご覧ください。渦巻状の少し変わったグラフです。先づ「資料6」のグラフですが、これは中心点からの距離を貿易額で点を打ちました。一番上の下度時計の十時にあたるところが去年の一月です。時計の針のように二月三月と推移していましたが、去年の七月にピークを迎えています。そのあと八ヶ月、九月と問題のリーマン・ショックを迎えまして。そのあとと落ちこんで、たった一年

の間に世界の貿易は三十六パーセントも落ちこんでしまいました。この数字は、みずほ証券のエコノミストが世界の国々の輸出額を足しあわせて作った数字です。国連WDOのものでは動きが一寸違いますが、スピードが非常に早いで、今何が起きているかと言うことがとても良く判って大変参考になるデータであります。ご覧のように渦巻き状にぐっと中に入ります。ご覧のようになります。何故こんなグラフを作ったかと言いますと、「資料7」グラフを重ね合わせたからです。このグラフはキヤンバールバーガーと言います。年程前に亡くなった経済学者で、大恐慌のスペシャリストですが、彼が作ったグラフです。この渦巻き状態を三層になって頂くと、真ん中にどんどん迫っていくのがお判りだと思います。この時は世界経済は三年間で、実に三分の一になってしまいました。もう、すっかり萎縮してしまいました。今日のスピードは、この大恐慌の



時のスピードをはるかに上回るものです。同じ
 ペースに落ち込むまでに、大恐慌の時には二年
 かかっておりました。ところが今回は、たった
 一年で三十六パーセントも落ち込んでいくと
 いうことです。如何に恐ろしいことが起きてい
 るのか。このグラフを一つ並べるだけで、私た
 ちは大恐慌と同じようなことになるのではな
 いかと連想するくらい恐ろしい状況にあつ
 たわけでありませう。こんなに短期間に世界の貿
 易がおかしくなるということは何なのか。これ
 を一言で言えば、お金の流れが止まってしまつ
 たということになります。それを引き起こした
 のがリーマン・ショックだったのです。

すね。最近では治療方法が進んでいるそうで、二
 時間以内に手当てをすれば後遺症は残らない
 ということです。ただ多くの重症の方は後遺症
 が残ると言われます。例えば言語障害を引き起
 こしたりとか、或いは右半身が動かなくなると
 いった大きな後遺症をきたします。で、今回の
 出来事は、まさにこの脳梗塞が起きたような状
 態だと思つておられます。一瞬、血液が流れなく
 なつて、そこであちこちに後遺症が出てきてし
 まつていると言つておられます。(つづく)

わが回想記

早稲田大学名誉教授

堀江 忠男

四年間完全軍縮案

(一九八五年十月五日記)

来月十九、二十日のジュネーブ・米ソ首脳会談を前に外交前哨戦がめまぐるしい。九月二十

七日にシエラレオネ・ソ連外相がホワイトハウ

スでゴルバチョフ・共産党書記長のレリガン大

統領めて親書を手渡した。そのあとの記者会見

でシエラレオネ外相が「親書に示された軍縮案

は、ソ連新指導部の決断の結果とみられ、歓迎

する」と述べた。

十月に入るとジュネーブ米ソ交渉に上程され

たその具体案が米国のマスコミに伝えられた。

交渉というものだろう。

一九五九年九月十八日、フルシチョフ・ソ連

首相は国連総会で「四年間完全軍縮」を提案し、

数日後、アイゼンハワー米大統領に会って平和

共存を話しあった。四年間に世界の軍備を全廃し

しようという甘い話に反対はなかったが、実現

はもちろんしなかった。しかし、こういう雰囲気

気のなかで一九六三年に部分的核実験禁止条約

が結ばれたのである。

当時の米ソ両国も軍拡が人民の生活向上を遅

らせることを論議してはいたが、いまでは問題

はもつと切実だ。経済の低成長に悩むソ連にと

つても、軍拡、赤字財政、ドル異常高という剣

が峰から無事に下山したい米国にとつても、軍

拡に歯止めのかかることは救いであろう。サミ

ット会議がその第一歩になることを望みたい。

ちなみにフルシチョフ提案は「軍縮の社会

的・経済的諸結果」という国連報告書となって

実を結び、一九六二年二月に公表された。それ

一 (一)戦略核兵器の五〇%削減を提案している

が、米国が欧州に配備したパルシングIIミサイ

ル、核搭載爆撃機などは削減の対象にし、ソ連

が欧州に配備した中距離核兵器は除外している

(S D I (スターウオーズ)の研究、実験、配

備禁止を求めている)ソ連の構想はゴルバチ

ョフ書記長のパリ演説でさらに明らかになった

が、いずれにせよ、それでは「受け入れられな

い」というのが米国側の反応だ。

それに対してゴルバチョフ書記長はフランス

のテレビで「アメリカ人は秘密が守れないらし

い。会議が終って十分も経たないうちに世界中

に知れ渡る」と皮肉った。

ソ連提案が自国に有利なのは当然のこと、米

国がいまジュネーブで出している核弾頭削減案

は米國本土を目標とするソ連の戦略核を大幅に

減らさせようというものだし、S D Iについて

は「取引の条件にしない」というのがいままで

の態度だ。こういう対立から歩み寄るのが外交

によれば、軍縮は、社会主義國には民生向上の

ための資源解放をもたらし、資本主義國は第二

次大戦、朝鮮戦争などの後の、平和経済への転

換を経験しているので不況を必要する必要はな

い。「一般的かつ完全な軍縮は、留保条件なく

全人類への福音であろう」というのがその結論

であった。

ゆれるロシア情勢と 世界経済の混乱

NHK解説委員
前・モスクワ支局長
石川 一洋



明らかにしています。明らかにしておけば、お互いに、お互いをやつつけられるということなのです。ところが中国は明らかにしません。それはどういうことかと言いつつ、アメリカから、あるいはロシアから第一撃を受けたとしても、何か一発生き残っているかも知れません。その一発が、アメリカに向って行くというのが彼らの戦略なのです。ですから、そうした面でロシアとアメリカとで手を組まれてしまうと、中国にとつては軍事力の面でも非常に不味いのです。今のロシアはGDPが日本の五分の一といましましたが、これから大きくなってゆく金融や通貨の面でも、ロシアはEUの方に寄ってもらうといいでしょね。そして日本は東の方で、極東をおさえるという方向になってくれればいいかなあと思つています。

鈴木亮 今日は大変参考になるお話をし頂きありがとうございます。私はロシアに並ぶとか横断歩道に線が引いてあるとか、文化

場合、漢の文化といいますが、日本人の場合、あれば入り込もうという感じがします。中国の線は文化だと思つています。例えば、なるべく列に並ぶとか横断歩道に線が引いてあるとか、文化

中村節 ご指名頂きましたアサヒ・エヌ・コトホレシヨンの中村でございます。諸先輩のおられるなか僥越ですが、今日の講演会を祝しまして乾杯のご発声をよろしくお願ひ致します。乾杯！
(一同乾杯)

石川講師 アメリカは世界最強の軍事国家です。核兵器については、他の国々は、米ソの強い力には到底及びません。中国も核戦力を強めてはおりますが、技術的にはまだまだというところでは、ロシアやアメリカが持っている大陸間弾道弾ミサイルについても、スピードの点で中国は遅れています。だから中国はアメリカのミサイル防衛について神経質なのです。

もう一つ、中国が核戦力を明らかにしないという理由は、明らかにしてしまうと中国は不味いからなのです。ロシアやアメリカは明らかにしています。米・露ともにどこに何があつても、どんなものがあるのかということば、お互いに

ついでには全く判りません。ロシア民謡は好きでよく聴いておりますが、国そのものの臨場感も全くなく、どちらかと言つと第二次世界大戦のあとの北方領土の問題でイメージが凄く悪いなあという程度のものになってしまつています。昨年またまたま昭和経済会の月刊誌に「年頭にあつて」という題で書かせてもらいました。今年度は原油が下がると書きました。その時、ガソリンの平均価格が一五〇円前後だったのですが、今、平均価格が一四二円です。高い時には、これが一九〇円台まで上がりました。今年の始めにお話した予測は、実は外れまして、最近になつて、少し当つたかなと思つています。

を総称して左様に言います。

ロシアの人たちのアイデンティティと言

うのは良く判りません。一体ロシアの国民性とは何なのでしようか。私から見ると、作っては壊わし、作っては壊している様子が歴史上から判るのですが、ロシアの国民性とは何なの

か、お尋ねします。

石川講師　ロシアという、あれだけ広い国

なので、その国土が与える影響というものが有

ります。もう一つは、日本と言うのは典型的な

国民国家、民族国家と言つてもいいかも知れま

せん。スタールリンは「民族というのは、歴史の

文化的な、言語的なものを共有する集団」と言

つています。まさに日本人に当てはまるような

ことを言っております。しかし、ロシアは決し

てそうではありません。いろいろな多様な民族

を含めています。そこで、ロシアはロシア人が

という、それではロシア人とは何かと言うこ

とになります。もしもロシアが、ロシア人の為

前体制の帝国というのは悪の権化のように書

かれるのです。しかし、よく読んでみると、オ

ーストラリア、ハンガリーにしても、或いはロ

シア帝国にしても、例えばレーニンが何度も捕

まっただと言いますが、何度も脱走しているの

です。脱走できる程、ゆるい専制体制だったとい

のロシアになれば、ロシアは必ず崩壊すると思

います。ロシアの中でロシア民族主義というも

のが出てきたら、これは崩壊への道でしょう。

何故ならば、ロシアには様々な民族があります

ので、ロシア人以外は排除するということにな

ります。どういうことかと言つて、非常に曖昧

な概念しかないと思ひます。つまりロシア民族

主義では駄目だということになれば、何かの主

義で纏めるしかないということになります。し

かし、これでも上手くいきません。結局、ロシ

アは帝国だと思つのです。悪い意味でも、良い

意味でもなく、日本が国民国家だとすれば、ロ

シアは帝国だと思つのです。帝国とは、否定的

なイメージで使われます。

第一次世界大戦で滅亡した帝国は、ロシア帝

国、オーストラリア帝国、ハンガリー帝国、オ

ースマン帝国です。ドイツ帝国と四つ滅亡してい

ます。その後は国民国家ができて、ロシア帝国

の後は社会主義政権ができますので、当然、

主義というものは受け入れられませんが、今のロ

シアのなかに住む、それらの他民族の集合を纏

めることのできるような権力が必要になつて

くると思つのです。ロシア国とロシア人とは必

ずしも一致してはいません。ロシア国にはタタ

ール人もいるし、ヤクート人もいるし、ユダ

ヤ人もいればドイツ人もいます。戦争をしたグ

ルジア人にしても、ロシア国内には百万人もい

ます。そういう民族を東ねて、古い意味での帝

国を、如何にして現代に生かして行くかという

ことなのです。

ロシアが今の領域の中で繁栄していくこと

は、結構なことですが、それが地理的に外に拡

大すると、正に十九世紀的な帝国主義ですから

それは受け入れられないのです。でも、それを

やったらロシアは破滅するだろうと思つので

です。

理事長　今、まさしくオバマさんが四十七

才で大統領になりました。アメリカの国家は片

うことです。

しかも異なる文化が入ってきており、非常に

曖昧で緩やかな部分もあったのです。ロシアと

いうのは中央権力という一面、曖昧さを以つて

いかなければならないという多民族国家で、昔

の古い意味では曖昧な帝国なのです。今の世界

では、アメリカのように自由主義、民主主義、

自由主義経済が唯一のイデオロギ―国家のよ

うな形になっていきます。ではロシアは外に対し

て、そういうことを言うかといえば、十九世紀

ではあるまいし、ロシアという地理に広がると

いうこととしては限界があります。そうすると

今のロシアというものは、ある種の市場経済民

や白人の女性と、一方ケニアの黒人です。ロシアの大統領も四十二才で、まさしく戦争は知りません。しかし、うまい具合にリベラルな民主党と、主権を主張するような共和党と、アメリカは判り易く見えている部分もあります。ロシアの場合は、いろいろなグループの考え方が違つて歴史を作つて来ているのは判りました。これからもしかするとこういうものになるかも知れないという推測には、何か国民性がそれを押し進めることがあると思うのです。プーチンは強いものを狙つているでしょう。ただ、これから日本が獲わつてゆくためには、前向きに健全な国民の意見が受け入れられるような体制になつて行くのかがどうかお伺いします。

石川講師　ロシアについては、一年後のことを予測することさえ難しいのですが、ただ、まともな方向へ向う可能性はあるし、それはロシア国民にしか決められないのです。今は、ロシアの指導者しか決められません。九〇年代を

通じて、我々も支援しようとしてたり、教えようとしてたりしました。しかし、結局、彼らは彼ら自身がどこへ行こうとしているか、つまり僕らがそれを背負おうとしても、あの重い国はとも背負い切れないし、無理なのです。彼ら自身が決めることなのです。彼らにはチャンスがあるのです。しかし、そのチャンス^がを逃す可能性もあるのです。ロシアは非常なチャンスを迎えていると思います。それを生かすかどうかは正にロシア次第なのです。他国の金融危機がどうか、アメリカがどうかということではなく、正にロシアがそのチャンスを生かすような方向に向かねばなりません。ロシアには中小企業がありません。その解消には所有権というものが確立しなければならぬし、法律というものを根付かせていかなければなりません。日本や他の国が当り前に思っていることを、きちんと当り前にできるようにしなければなりません。ロシアでは今、住宅などの建設が次々行われて

います。これは他国にとつては当り前かも知れません。ロシアにとつては大きな意味があります。ロシアにとつて住宅建設が盛んになつた事は、大変な大きい動きなのです。個人のもの、会社のものといった所有の概念をきちんとする。何十年掛けてでも、きちんと植え付けて行く。ということになれば、あれだけの大きな国です。ですから、可能性は物凄く大きいと思います。ただ、それを生かせるか生かせないか、あるいは又、無駄にしてしまうのかということは、ロシアの指導者の考え方によつて来ると思うのです。プーチン、メドベージェフのなかには、そういう方向に行こうとする所と、そうじやない、それは少し違ふのではないかと云う所が相混じています。しかし私は、ロシア国民が今以つて彼らを支持しているのは、やはり九〇年代よりも、今のロシアの方に自由を感じているか

らだと思つたのです。自由と言つるのは言論の自由だけでなく、経済的自由とか、外国に行ける自由とか、自分のお金を持つ自由とか、そういうことを含めて今の方が自由だと思つています。ただ完全な自由かと言へば、そうではありません。会社を作ろうとするといろいろな制限があります。例へば、ロシアではインターネットの利用者の数が物凄く増えています。日本でもブログと書く増え、そういう方向へ行こうとしている人たちがいます。これは特に為政者が単に自分たちの利益だけを守つて、結局は公益を阻害してしまうのはどんなものかと言つたところには掛かつて来ると思つたのです。

ロシアは第一次大戦の前にも、そういうチャンスがあつたにもかかわらず逃がしてしましました。或いは、そのあとの革命の時もチャンスがあつたのかも知れません。それも逃がして

しまいました。今度、このチャンス逃がすよ
うだと、本当にロシア国家というものが存立で
きるのかということだと思っております。

理事長　ロシアの大統領も四十二才、今度
のアメリカの大統領も四十七才、相対して仲良
くやってくればいいのですが、裏で取引されて
まいります。最近の金融情勢に対して混乱が続
いておりますが、そのあたりで収束されるのか、
それとロシアは、この金融の情勢をどのように
把えて対処しようとしているのか気になりま
す。聞くところによるとマーケットが一時閉鎖
されたという事も聞いております。自由の方
向に、市場に進んでいるロシアに対して、相当
の障壁になつてきはしないかと気になつてい
ます。若い人にその辺りを訊ねてみたいと思ひ
ます。

佐々木裕介　みずほコーポレート銀行の
佐々木と申します。大塚に興味深いお話をあり

お金が出ています。ここに香港、中国、ロシア
の株式市場も高値から八〇パーセント下げて
いますので、バブルが一度崩壊すると痛いなあ
と思つて見ております。新興市場が、ここでもロ
シア・シヨックだとかアジア・シヨックなど
といったことがあると、これが又、グローバル
のデフレ・スパイラルになつてくるといふこ
とで、そういう意味では途上国の景気動向、と
くに株価と、政策に大きな関心を持っています。
その辺を先生ほどの様にお考えでしょうか。

石川講師　これは一つには、伸びた要因で
もあるのですが、証券市場についてロシアは非
常に自由化を進めておりまして、去年あたりか
ら資本移動の自由化を図つています。例えば、
私が東京に居てロシアに口座を開いても、そこ
でやりとりしても構わないということです。単
に届出をするだけで良いことになっていきます。
ただ今回のことを見ても分かるのは、やっぱり
まだ底が浅いと言ふことと、投資銀行にしても

がどうございます。ロシアに関しては為替で一
九九五年からのチャートを見ますと、ルブラ
は大分安くなつて来ているという認識を我々
は持つております。金融関係者が一番危惧して
いるのは、米国で証券化商品の住宅ローンの不
良債権が可成り積み上がり、それを時価会計
を変更すること、たぶん数年にわたる繰り延
べ処理をして、日本と同じようなことを今行つ
ているという認識であります。日本は日経平均
が九五〇〇円を超えてきませんと、金融機関は
たぶん生保も含めて、含み損に転じますので、
デフレスパイラルに入つてきているなあとい
うことです。それからヨーロッパも今回、証券
化商品で可成り傷を負つているのですが、我々
が一番危惧しているのはエマージングカント
リ、つまりロシアとかブラジルも入りますが
そういったところへの貸付債権が一番大きい
のはヨーロッパの銀行です。七十五パーセント
近くの膨大なプロジェクト・ファイナンスの

も一つには、逃げていった可成りのロシア
資本も入つています。ロシア自身がロシアの
将来性を見直してきているということです。こ
れはキプロスへ行ったのを見れば大体分かる
ことですが、元はと言へばロシアだろつと。し
かも可成りの額が流出しました。一昨年あたり
からは、むしろ連邦崩壊後頃から逃げた部分が
流入して来ました。ロシア発金融危機といふこ
とはないと思ひますが、既にアメリカ発で可成
り大きくなつていますので、それが更に広がつ
てロシアの危機を進めるといふ可能性はない
と思ひます。

ロシアに対するプロジェクト・ファイナンス
ス、つまり貸し付けということについてですが
ロシアの場合、外貨準備高を含めて、国の持つ
ている金というのは九八年のロシア危機の時

とは比較にならない額になっています。あの時の外貨準備高は二百億ドル位でした。今は、外貨準備高が大分減つたにしても、二十五倍の五千億ドル位あります。しかもドルウエーと同じで、安定化基金というものがあつて、これが一千五百億ドル位あります。しかも国家予算は八年連続の黒字予算で、今年も恐らく八兆円位の黒字です。ロシア国はもう充分なのです。

ところが、その金が民間に回らないのです。民間は、主にヨーロッパから金を借りています。この額が、やはり四千億ドル位あります。特に去年から増えています。去年の八月から今年の八月位までで、二千億ドルぐらゐの借入れが増えています。アメリカのサブプライム・ローン問題が起き、恐らく欧米の金融機関は、まだそれ程深刻ではないと思つて、今度こそは新興国のチャンスだろうと、どんどん貸したのだと思つたのです。これはロシアだけでなく、ウクライナに対してもそうでした。去年から大体一年

りられたということでした。だからロシア国内には以前の金融機関が、例えは「みずほ」みたいなものが無いわけですが、そういうものは別に無くてもいいと言つて、楽にやつていたのです。しかし、これからは、そうは行かないでしょう。これからはロシア自身も内需を作り出さなければいけないし、自分達のフライングスを作つて可成りの努力をしなければならぬと思つています。それから、ロシアはまだまだ甘いと思つています。自分らの努力で出来る部分は、ものすごくあると思つて、何かをちよつと変えれば伸びる部分も沢山あります。だからそうしたことからすれば、楽だと思つたのです。従つて、まだ成長する可能性は大いだと思います。これはロシアがちゃん

と、ロシア自身は、まだ楽をしていられると思つて、そうした時に、日本がこれからどうしななければならぬか。日本はそれなりの努力をして、切り詰めたりにやっています。それに比べて、ロシアはまだまだ甘いと思つています。自分らの努力で出来る部分は、ものすごくあると思つて、何かをちよつと変えれば伸びる部分も沢山あります。だからそうしたことからすれば、楽だと思つたのです。従つて、まだ成長する可能性は大いだと思います。これはロシアがちゃん

間、二倍に増えています。それを今は一斉に引きあげるといふことで、民間のデフォルトの恐れがあると思つたのです。デルボカシはロシア最大の財閥です。部品メーカーですが、一度買ったものを手放さなければならぬといふことにもなつてきます。その点について大きなところで、ロシア政府が融資をして、肩替りをする、借り替をする、フライングシャルをするといふことです。もう一つは資源産業です。つまり資源メーカーが借りていますので、欧米の金融機関に担保としていた油田などを取られたくないといふことはあります。金は貸すから心配は無いといふところはあります。今後はどうなるかといふことですが、今までフライング政権と、八年前の経済成長といふのはロシア自身の努力もありますが、やはり世界の好景気や、世界中で経済成長が続いていたという恩恵によります。原油もどんと高くなつていきました。借りようと思えば、いくらでも借

入るのです。E.U.とロシアの協議は可成り具体的レベルで話をしていきます。だからロシアにとってE.U.との貿易高は、全体の五十三パーセントに及んでいます。ロシアからみると、E.U.と喧嘩をしないで、は不味いのです。E.U.と喧嘩をしているよう

に見えても、EJが潰れたら一蓮托生など言つても、ロシアにとってはEJがなければ成り立たないのです。ロシアの最大の天然ガス、ガスフロントも欧米が潰そうと思えば、これは簡単なのです。簡単とまではいかないまでも、EJがロシアからガスを買わなければいので、しかし買わなければ駄目だと、EJは全体の中で今三〇パーセントを買っています。それを買わなければ、ガスフロントなんか潰れてしまふ。何故かと言うと、ロシア国内では補助金を出しているので赤字なのです。国内では安く売っています。国内の一〇〇リユーベといえは確か四〇ドルくらいです。今、市場価格は三〇〇から四〇〇ドルくらいです。ロシア国内は赤字なのです。ヨーロッパ市場で儲けた金で、ガスフロントは成り立っているのです。ヨーロッパもガスフロントに依存していますが、それよりもむしろガスフロントがヨーロッパ市場に依存してしま

鈴木 喜佐人さん

鈴木喜佐人さん

「ありがとうございますのCDありがとうございます」
歌声に愛情があふれ、聞きやすく、思わず口ずきみたくなる、良いメロディと、お声ですね。私は昭和三年生れの八十一才です。終戦のときは、十七才でした。家が貧しくて、旧制中学校を十五才で卒業、日立製作所亀有工場に十才で入社しました。当時の日立亀有工場は戦車を製造していて、私はそのキヤタピラを作る鑄金職工でした。
職工のままで、たった一回の人生を鑄物職工で終わらせたくない、二十一才から高校、大学と夜学で学び、仕事を二十四種類、会社を十

井浦 康之

二社変わり、今の人材育成コンサルタントとしての私があります。何となく鈴木さんと同じような環境にあつた気がして、鈴木さんの考え方、お人柄に好感を感じました。
鈴木さんの奥様に対する、愛情、ありがとうございます！感謝の心！素晴らしいですね。CDは一生残る、最大のプレゼントですね。又、今回見送りになりましたが、故郷の平泉の文化遺産を、「ユネスコ世界遺産」に登録を祈念する心。これも素晴らしいことですね。私も結婚五十七年、金婚式はとくに過ぎています。家内も七十九才、身体が思うようにならず、寝たり起きたりの状態ですが、今の私があるのも家内のお蔭と、食事の世話とかいろいろと世話をしています。鈴木さんの奥様への愛情とまではいきませんが私なりに感謝の心でありがらう！と家内と接しています。
鈴木さんも夢を実現してください。「ありがとうございますおまえに」を毎日聞いていますよ！

っているのです。その面でガスフロントは日本に売りたいと売りたいとしようがないのです。これはガスフロントに投資している欧米の投資フロントが出している要求は面白いのですが、先づ何かと言うと、アジアにもっと売れるようにしなさいということ、そして国内価格を上げると言うことです。国内は損をしている。旧ソビエト諸国、ウクライナとかいう国に売る価格をもっと上げなさいと。これは投資家が言っているのです。(つづく)

人生闊歩

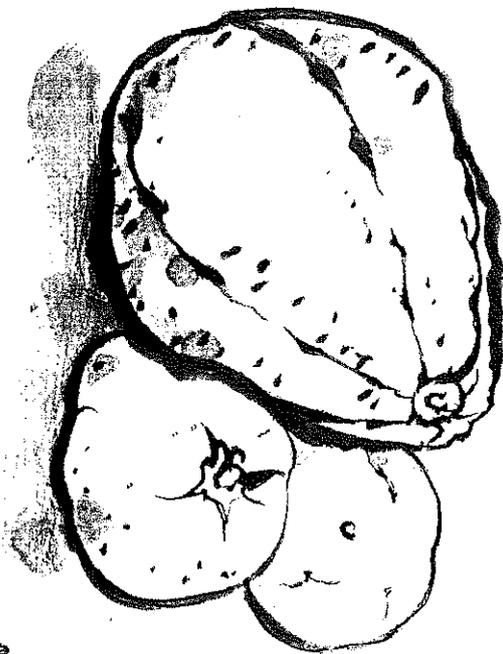
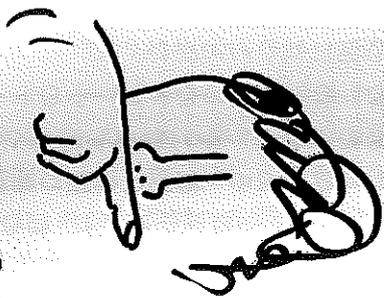
「アメリカはスピーチの国だから」

ランゴ岩本

「オーケイ、サンキュー」とクランク教授。
「さあミスター・ヤングにノートを回して。ミ
スター・ギルモア。エー・ゴウ・ネクスト(次
は君の番)」
ミスター・ギルモアのテーマは「僕の人生の
目的」だった。彼の手はボクシングに突進しな
したが、彼も矢張り手には苦勞した。勝手に彼
の身体の上半身のあちこちをピット(訪ぐれ
る)のだ。顎や首をこすったり、耳の中をほじ
くったり、髪を掻いたり、そして、まるでバイ
オリンでも弾くように鼻下を横に行き来した
り。。。

三番目はミスター・リー。彼は自分の手が勝
手に身体のあちこちに行かないように工夫し
て、白紙のペーパーを手に登場した。しかし彼
も、「マイ・ホータウン」のタイトルでやり
だしてすぐスピーチの方に気をとられ、両手
でそのペーパーをグルグル巻く動作を繰り返
すことになった。
だから後でクランク教授が録音を私たちに
聞かせてくれた時、ミスター・リーの小声のス
ピーチよりも、ラッスル、ラッスルという「ス
ーパーを巻く音の方が大きかった。

by Ranko



暑中お見舞い申し上げます。

弁天の池をめぐりてうららかに仰ぐも貴
き五重のたふかな
あすから
明日香路の若草やまの夏の野にたはむれ
あそぶ我らはらから

社団法人昭和経済会
理事長 佐々木誠吾

「フー——ミー？」（誰——私？）

「ミス・イワモト」とクラーク教授が言った。全く躊躇のひとかけらもない声で、表情で、彼一人の留学生だから、といったシンパシー（思いやり）皆無。全く完璧に、みなと同様に扱う、という彼の言動は見事なままだった。

「フー（誰）——ミー（私？）——耳を疑った私の口から飛び出していた。無意識に、私は彼が、この外国人にもう少し時間を呉れるだろうと思っていた様だ。甘かった！日本語ならともかく、外国語（英語）でいきなりやらされるスピーチだから、順番は最後あたりとしてくれるだろう、と無意識にでも期待していた私は甘かった！

こうして、手に何も持たず、私は「癖を探そう」と私を凝視するブルーや茶色の目の級友た

無益に時間をついやしているのではないだろうか？ただ単に、毎日を精一杯生きていけば、自然に自分の正体は自明となるのではないか？「自身のアイデンティティ」（正体）とは、生まれながらの個性とキヤパシティ（潜在的能力）であろう。世に言う「全ての人間は自由で平等」は、真実でもあり誤解的でもある。自然界が示している通り、草木や花の「生物」、地上や水中の「動物」の種類は無限と言えよう。「人間」も誰一人全く同じではない。何故人間の相違は、背丈や顔だけでなく、指紋などは世界でその人だけ、となるのか？

私は人間は生まれながらに「自由で平等」を次の様に解釈している。私たちは、生まれながらの性格の傾向と潜在能力を発見する「自由」を与えられている。この発見を指針として、自己の潜在能力を人生でフルに実現して初めて、「（自己と）平等」になる、と。

生まれながらの性格は、その人に適した方角

ちの前に立つことになった。

「お、お、わたしのスピーチのテーマは……」と始めたものの、そこでまず詰まってしまう。当たり前である。教授に名指しされた時の私は、まだ、テーマを模索中だった。私の頭脳空間は、話題がわんさと押し合いへし合っていた。これは全く不幸なコトだった。級友の射る様な視線のまっただ中で狭み上がった私は、自分の脳内の混雑からひよいと顔をだしたテーマ——「サーチング・フオア・アイデンティティ」（個性の探求）——に飛び付いてしまった。何とバカげたテーマを選んできたことだろう！そのお蔭で、級友達（そして自分の）思考能力の限界範囲を飛び越してしまうことになつてしまった。

当時私はこのテーマでしきりに思考していたから、サブスタンス（実体、骨子、要旨）は持っていた。

しばしば私たち若者は、自分の正体を探して

（分野）を暗示するものだろう。潜在能力の実現度は、その人が自分に適した方角の道程の距離で決まるのではないだろうか。この道程で、日々もたらされる様々なサブスタンス（事態）に対処している中に、その人のアイデンティティは全く自然に、表面化して来るものだろう。そのアイデンティティは、その本人が予想したり、希望しているモノとは違うことも少なくない。

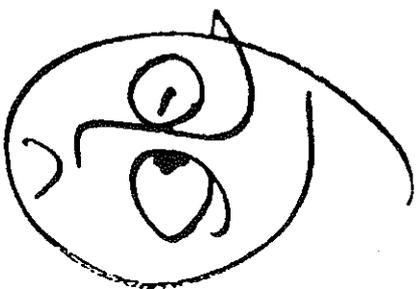
日々面するサブスタンスは、「どうするか、どちらにするか」の選択と決断を必要とする。自主的に選択するか、無意識にでも周囲のコンセンサスに左右されての選択か……。どんなに小さな些細なことでも、次の多分もっと大きな選択と決断の「指針」となっていくだろう。だから私は、人生とは、日々の選択と決断の蓄積からなる、と考える。「人生」自体が、「一日」の蓄積からなるわけだから……。

スピーチのクラスで、即席三分間しゃべれと

なって、私が飛びついてしまったこの「独自性の探求」は、説教や講演のテーマとしては良かっただけかもしれない。しかしその時のクラスでやるスピーチとしては、全くもって最悪中の最悪のテーマだった。クラスの課題はスピーチを聴くことではなく、スピーカーの個人的癖を見つけてることだった。また三分間で、哲学的に人生を考察することなど不可能だった。それに、ただでさえ(当時の)アメリカ人は、インタンジブル(無形でつかみどころのない)テーマで思考する人種でないときいていた。だから私が選んだテーマは、よりいっそうクラス全員が私のタンジブルな(目に見える)癖を見つける仕事を容易くすることになってしまった。更に最悪だったのは、当時の私の英語での会話力ではこなせないインタンジブルなテーマだった。持ち時間の三分間の多くを、頻繁過ぎる接続用語(それで、そして、でも、しかし、そうは言っても…)で浪費し、私は、言いたいことの百分

の一も言えなかった。汗はタラタラ、全身は屈辱感と無念さで押し潰されそうだった。

by Ranko



綴友から集められた私の癖を指摘したノトは予想通りだった。
 「Ah, and, so, therefore, eh, s, what I mean is」(あ、そして、そう、それで、エ、私の意味するところは、が多過ぎる)だとか、
 「頭を振り過ぎる」[shaking the head]の発音の混乱がひどい
 殆んどみな同じ指摘だったが、追加のコメントには、「何を怖がっているの？貴方は殆んど

戦略を立てる

私たちを見なかった「貴方の右手に注意して、四回グルグル回る」「頭を右に傾ける癖がある。傾けねばならぬなら、バランスの為に左にも!」「トライ・ツク・スピーク・ウイズアウト・ヨア・ハンズ」(両手を使わずにしゃべる努力をしないさい)

現その他のすべて一からさ迷いでないこと。これは、「何を、どの様に」話すかで、自身の脳内混乱を防ぐことになる。綴友のアドバイス、「手を使わずに話すことを心掛けよ」は、そうね、その内なんとかしましょう…逆手にとって、手の効果的使用法など思い付くかも!

というわけで、次にクラーク教授が、「次回

のクラスでは、五分間で何か『説明する』スピーチを準備して来なさい」とクラスに命令した時、私はこの戦略に基づいて、「キモノのトリック」(からくり)というテーマでやることにした。これだったら、クラス全員にとって初めて耳にする話で面白いだろうし、男子学生だて「トリック」とくれば注目せざるをえないだろう!

今度は自分の国の国民衣装についてだから、私も少しは「自信」が持てる筈だった。それに、着物のトリックを説明するにはデモンストラ

綴友たちのこれらの指摘はみな尤もで、その通り、だった。それで私は、色々思索したあげく、次の戦略にだどり着くことになった。

● クラスの(聴き手)の関心・興味をコントロールするには、とても面白いことか、「彼らが聞きたい」ことを話す。

● クラスに「伝えよう」としていること

全力投球できる為にすべきことは、スピーカーとしての私が「自身がある分野」―知識、表

物事、難しいとはない

井浦 康之
(当会理事)

固定観念が物事を難しくしている

小学生に将来の夢を訊くと、ケーキ屋さんやお菓子屋さんといったものから、サツカー選手や、アイドル、先生、はては総理大臣なんて答えても当たり前でしてくる。私にはこんなことできないかも……と臆するところがない。それが何歳ごろからか、将来の夢にでてるような職業は、選ばれた人だけになれるものであつて、自分とは無縁のものであると信じていたことなど、忘れてしまうのだ。

「コツプの中のエ蚤」という、ある心理学者がした実験の話がある。ガラスのコツプの中に蚤を入れて、ガラスの板で蓋をしてしまう。最初

蚤は、外へ出ようとジャンプをして蓋に頭をぶ

つけてまた落ちる。そうすると蚤も次は跳び

つける。一回ぶつけて「痛い」と落ちる。二度

ぶつけてまた落ちる。そうすると蚤も次は跳び

方を襲え、少し抑えきみに跳んでみる。大丈夫

なことが確認できたら、次はもうちょっと高く

跳んでみる。そうやって、頭をぶつけないぎり

ぎりの高さが見つかる。蚤はもうそれ以外の

高さで跳ぼうとしなくなる。そしてただひたす

らに同じ高さで跳び続ける。そこでこの習慣が

ついたころに、蓋のガラスを外してやる。

もし蚤がもう一度だけ、コツプの縁を越せる

くらい思いつきり跳べば、今度は頭を打ちつけ

る代わりに広い世界へ抜け出せる。しかし実際

には、百匹中たった五匹の蚤しか外に跳び出さ

なかつたという。残り九十五匹は蓋のないコッ

プの中で跳び疲れて、死に絶えてしまったのだ。

九十五匹の蚤は、外に出ようとしてもまた頭

をぶつけるだけだ、という固定観念に捉われて

身を滅ぼしてしまつた。何もこれは蚤だけの話

ではない。

この仕事は難しいから、私にはどういでき

ないと、やる前から避けてしまう。きちんとつ

き合つてみる前から、あの人はこういう人間だ

と粹で困ってしまう。それだつて、蚤と同じで

コツプの中の固定観念である。小学生のころに

サツカー選手を夢みたサツカーマンも、もしか

したら本当はサツカー選手になれる人だつた

のかもしれない。しかしそうたしたら、彼は

自分で自分にガラスの蓋をして、その可能性を

握りつぶしてしまつたと言えるだろう。

コツプの中で物事を見ていると、同じ高さで

跳び続けた蚤のように視野が狭くなり考えや

行動がマンネリ化してくる。

たとえば家から会社へ通う道は、多くの人が

大体において最短距離をとっている。毎朝同じ

時間の電車の、乗り換えの階段に一番近い車両

に乗る。乗り合わせた客のほとんどは、毎朝同

じ顔ぶれだ。そして同じ道順で会社に着き、毎

日同じような慣れた仕事をする。それでは視野

が狭くなるのも当たり前だ。

私はかつてある人に、視野を委えるヒントを

もらつた。それは出張に行つたときに、電車の

中で行きに右の風景を見たら帰りは左の風景

を見る、というものだ。同じ料金を払つてゐるの

だから、どうせなら両方の景色を見たいほうが得

だという発想なのだが、これは物事が持つ性質

をよく表わしている発言だと思ふ。なぜなら、

物事にはかならず表と裏があつて、両面を見る

必要があるからだ。たとえば会社でやりたくな

い仕事任せられたとき、片面しか見ていなかっ

たら、「嫌だな」「何で俺がやらなくちやなら

ないんだ」とマイナスに考えて終つてしまふ。

しかしそこで視点を委えてプラスにとつて

みると、「どうせやらなきゃいけない仕事だか

ら、気持よくやっちゃおう」「俺に力があるか

ら任せられたんだな、俺つてすごいんだな」「う

まくいかなかつて首になつたり、死んだりす

るわけじゃないんだから、さつさと終らせよう」といった具合に、乗り越えるのが楽になる。物事の表と裏と言えば、戦国時代の織田信長は、桶狭間の戦いを前にして、「表が出たら我々が軍の勝利、裏が出たら負けだ」と言って六文銭を秀吉に投げさせたという。結果は表で、勝利を確信して戦いに臨み、実際に勝ち戦となった。しかし実は、投げた六文銭は一枚貼りあわせたもので、そもそも裏が存在しないものだった。これはアラスのままである。壁にぶつかるときに、アナスの面しか見えていないと、まずまず落ち込んでしまう。そこで信長は、アナスからアナスに視点を移えただけでなく、アナスを誇張して皆の心よりどこどころなる自信にしてみました。何度も言うのだが、どんな物事でも、悪い面ばかりでなく良い面もかならずあるのだ。乗り越えていくのが難しく感じられるのなら、そ

れは自分の中で固定観念が良い面を見るのを邪魔しているのである。

見る角度を変えると、
明るい面だけが浮き出てくる

今でこそ私も、どうせやるなら楽しくやろうというアナス思考だが、若いときは体が弱ければ気も弱く、典型的なアナス思考の持ち主だった。それが、あるとき自分を見つめ直すきっかけを得た。

入社後グループ分けされたのだが、ある日グループのリーダーが病気をした。そこで偉い先生が「お前がリーダーになれ」と私を任命した。私は自分がリーダーの器だとはとても思えず、冗談じやないと思っただが、偉い人の命令なので逆らえない。ところがいざリーダーになると、きちんとみんなが私についてきてくれる。私にもそ

んないどころがあったのか、と目からウロコが落ちるような気持ちになった。自分にはできないと思っていた仕事ができ、自分の隠された能力を発見できたのだ。

それから人生が変わった。それまでは自分の中をあらばかり探していたのが、良い面もみつけられるようになった。たとえば学生時代、数字は苦手だったが、記憶力だけは自信があった。そこで、この記憶力があれば何かあったときには、あとは努力で何とか切り抜けて行かれるだろうと思えるようになったのだ。

振り返って考えてみれば、体の弱かった私が体育だけは得意だった理由も、ある先生の言葉がきっかけだった。学校で二年生の時までには、私は体育も苦手だった。背が教室で一番小さいこともあり、どうしても跳び箱が跳べない。そのうえ「お前はチビで足が短いから跳べるわけがない」と先生に言われて、学校に行きたくなくなった。

ところが三年生になって受け持ちが鈴木先生という人に替わった。私はやはり跳び箱が跳べなくて「駄目だ」と思っていたら、いきなり先生が「お前、いいバネしてるな」と言ってきた。耳を疑っているときに「そのバネで二年間跳べないのはおかしい。お前なら絶対跳べるから、やれ」と言う。そこでつぎに跳んだら、跳び箱に腰を落とす位置が二十センチ前になった。すると先生は「偉いなお前、二十センチの伸びたじやないか。絶対跳べるからもう一度やれ」と言ってくれた。前の先生たつやらこで「二十センチしか伸びないのか」というところだ。

みんなも応援しだし、私も俄然やる気が出てきた。そこで思い切って跳んだら、お尻をいやつというほどぶつけながらも、跳ぶことができた。嬉しくて痛みも忘れるほどだった。それを見て先生は最後に「さすがだ。お前のバネはすごい。俺の目に狂いはない」とだめ押しをし

てくれたのだ。

一年間、私は自分に体育なんてできるわけがないと思っていたのが、この先生の励ましで自信がつき、やがては通信簿に甲乙丙の、甲の上をクラスで唯一もらえるくらい体育が得意になったのだ。

この鈴木先生は、のちに校長になったというが、そうだろうと思う。真の教育者とはこのような人を使うのだろうか。人間というのは一個のかたまりではなく、いろいろな要素があるのだから、その中のいいところを認めてやればい。駄目なところばかりが目につくかもしれないが、いいところも充分にあるものだ。いいてころをついてやれば、結果として全体が伸びることになる。

物事も同じである。よく心理テストで使う有名なだまし絵で、意地の悪そうな老婆の顔の絵がある。ところが見方を変えると、がらりと変わって若い女性の姿になってしまう。要はどう

ども冷蔵庫も車もパソコンもある。金がないと言っただって、今日明日の食糧ものに困るほどではない。これが外国だったら、ご飯を食べるために身を売らなければならぬ、なんてことまでざらにあるのだ。

だから、今の仕事が嫌だからといって、すぐに会社を辞めるものでもない。給料があらなくて今の給料でご飯は食べていけるのだ。自信があるなら辞めるのでもいいが、自信がない人や仕事のできない人は、首になるまで会社にしがみついているのもひとつの手である。

その代わり、しがみついている間にはどんな仕事ができるかわからない。だが、もらった仕事を嫌だと思わずに、レポートを広げる絶好のチャンスだと受けとめることが、のちのちのためとなる。

しかし、突然解雇されるなどして、会社にしがみつきたくてもしがみつけない苦しい状況に置かれている人もいる。そのときはどう自分

いう見方をするかなのだ。

見る角度を変えると、明るく楽しい面が浮き出てくる。階段を上がるのだから、見方を変えれば「健康的でいいなあ」「普段歩いていないぶんが、ここで歩けるなあ」「幸せだなあ」と思ったら元気が出てくる。嫌なことや疲れることでも、どうせやらなくてはならないなら、楽しくやったほうが気が楽というものだ。あなたはどう思いませんか？

「ピンチはチャンス」と考えていけば、かならず道は開ける

今、日本の経済は不景気だ。デパートは売上げに悩んでいるし、リゾート地のペンションは客足が落ちて困っている。力のない会社や銀行はどんどん倒産しているし、失業率も過去最悪だという。

しかし、景気が悪いと言っても、家にはテレビ

で腹を括るかが、そこでバニツクになったり暴自棄にならずに、自分の進む道を決める手がかりになる。

かりに最悪の事態を想像して、これ以上悪いことはないと思えたら、そこで腹が据わるだろう。極限まで考えてみたら、意外と大したことじゃないことも、世の中にはたくさんあるのだ。人間は意外にしるし。戦争中や震災後の劣悪な状況下で、生きるか死ぬかの思いを味わった。悪いか乗り越えて生きていけるものだ。下がるだけ下がって底まできたら、あとは上がるしかない。

経済で言えば、好景気の頂点のバブル期には努力したってしなくたってものが売れて儲かった。ある八百屋さんの例で言うと、もとは坪八百万の土地を坪二千万で売ってくれと頼まれた。二十坪持っていたので計四億だ。

そこで八百屋さんは、大した儲けのでない八百屋の仕事をやめ、土地を売った。そして二億

で新宿御苑の高層マンションを買って住み、残りの金で郊外にアパートを建て、そこから入る家賃で悠々と暮らすことにした。

ところがもうとすべいのが八百屋さんから土地を買った人だ。坪二千万で買った土地を二週間後には坪三千万で転売したのだ。四億円で買って六億円で売ったのだから、つまりたった一週間で二億儲けた計算になる。

しかしそんな夢のような話がいつまでも続くわけではない。バブルが崩壊して土地の値段は急落し、株価は半値以下になった。利子で儲けるために、借りてくれ借りてくれと言っていた銀行も、今では貸し渋るようになったし、倒産寸前のところもでてくる。

そうは言っても、底まで下がったらそれ以上は下がりようがないのだから、ここで努力して力をつけておけば、つぎに景気が上を向いたときに結果に差がでる。今は確かにピンチを迎えているかもしれないが、見方をかえればこれは

・近時雑感・・・佐々木誠吾

原油を中心としてエネルギー資源をめぐる議論が世界的に盛んに行われています。それに呼応して世界を巻き込んだ資源獲得戦略も熾烈を極めていきます。資源の消費に伴う環境汚染の問題も大きく俎上に乗ってきています。こうした問題を絵的に省察してみると、将来、従来のエネルギー消費を有的な資源に求めるのではなく、政策を大きく転換しなければなりません。

チャンスなのだ。

今まで努力しないで儲けようとしていたのが、努力する、勉強する、自分で学ぶ。そうしたらそれは全部自分の財産となって生きてくる。そう考えれば、力を身につけるこんな絶好のチャンスはそうそうほかにないはずだ。

なかには、職を失った、家や車のローンが払えない、お先真つ暗だ、俺の人生はもうおしまいだ、と難しく考えすぎて簡単に自殺してしまっている人がいる。だが死んでしまえばそれまでだ。死んでしまつてはチャンスも何も無い。

もちろん、親からもらった貴重な命を自ら潰しては、地獄に墮ちるといふものである。だがそれ以上に、人間一人ひとりが持っている、素晴らしい無限の可能性をも握りつぶしてしまふことが、あまりにもつたいない。

それこそピンチこそチャンスだと思つて、死ぬ気でやればできないことなどないのである。(つづく)

然の力・エネルギーに人類の生活、生存的エネルギーを求めていく必要があると思えます。既にその応用が実際に行われ、普及しつつありますが、設備投資にもそれ相当のコスト負担がかつています。同時に当会がかねてから提言主張しているように今世紀最大の注目は、「水素エネルギー」と断言してよいでしょう。水、H₂Oは地球上に、身近に、無尽蔵に存在し、近い将来、原油にとつて代わる唯一の資源エネルギー活用品となるべきものです。技術大国日本は、この開発研究に官民あけて取り組み、世界に先がけて実用化に傾注すべきであります。「水素エネルギー」が、原油にとつて代わる時代が必ずくるはずであります。

つい最近のことですが、原油が急落して四〇ドル台前半に推移していた時に、私は敢えて日本が原油を大量に購入し、備蓄して将来に備え

るべきだと、短期的な観測ですが何度でも主張を繰り返しました。世界経済が金融危機を招いて、商品相場も恐慌の度合いを反映して、この先一体どこまで世界経済が崩壊の一途を辿って行くか、不安な毎日が続いていたからであります。原油が安く買って今が買い時だとしても、云うべくして行けないのが現実である。しかし私は敢えて物申し、政府にも、当局にも具申したのであります。本誌にも、ホームペーじでも物申しました。

少し前、一五〇ドル前にまで急騰した原油価格が、四分の一近くまで下がったからと言って、恐ろしくて手を出せるものではありません。しかし、急落一途の原油を、日本が一斉に買い出したとすれば、世界は注目するでしょう。急落の歯止めにも貢献し、それを以って恐慌一色の世界経済に一つの曙光を見たに違いないと思えます。原油急落の恐怖はアメリカはもとより、EJを始め、中国、インドにしても、グリ

一方、日本人の自虐性は殊に顕著で、これは国民性かもしれませぬ。極論するのものはかるほどに日本人の謙虚さは過剰気味であり、聞きよなりました。人間にとつて日本ほど住みよい国はありません。「知に働けば角がたつ」という夏目漱石にしても、世界を見回してきたあとにも日本は一番住みやすいと、あの時代に云つております。

その日本の国内を見ると、一生懸命やつている麻生さんも今、総攻撃をうけているのです。野党からばかりではありません。身内の自民党諸君からも砲火を浴びています。沈みかけている船に更に砲撃を加えています。火に油を注ぐ光景です。卑近な例ですが、首吊りをしている人の足を身内が下から引いている状況です。政治の世界なので昂じれば権謀術策、暗闘は仕方がないかもしれませぬ。見苦しいことです。こうしたことを平気でする国民性も一方では持

ックスにしても、浮かれているアフリカ資源国然り、ロシアはズダズタでありました。そうした最中、相場観から見た日本の原油の買出動で、救世主現われる世界的評価を得ることのできたでしょう。又、そのことに依つて日本は莫大な利益を稼げることもなつたはずであります。日本の原油の輸入自体、貨幣価値に換算したら徹々たるものです。ただか数年間五〇億ドル程度の負担増ですみますが、問題は、そうした際の経済に対するインパクト、波及効果です。

ちなみに日本の国債残高は、八百兆円強であります。この天文学的数字に日本は耐えています。れること自体、世界の七不思議の一つでしょう。動じることもなく、余り気にもしていません。人は大したものでありませぬ。膨大な借金を裏手に返して経済大国を自認し、外国に多額の援助をしてきています。

つているのでしょうか。不可解な、不思議な人種です。

麻生さんは持ち前の笑顔も消えて表情がだんだん曲がつきて、苦笑いも気の毒な仕草に見えてきます。考えると、小泉さんのあと短期間に安倍さん、福田さん、麻生さんと目まぐるしく続いてきた総理の座ですが、肩を持つわけではありませぬが、麻生さん程の庶民性の首相も少ないのではないのでしょうか。酒飲みももう大臣など飛んでもない出現もあつて日本人だけでなく世界中の人が「あれは何だ」と驚いてしまつたが、指名が間違つていたと云うのであれば指導者として欠格者のひとつの要素として指摘されるでしょう。取り巻きや腹心がもう少ししつかりしていれば、こんな状態にならなかつたのでしょうか。麻生さんの性格と、対応といひ、馴染み易い点は抜群です。平気で褒画が好きだと云うし、若者に人気が高い面からすると、歴代にない人の良さ、明るさがある

のかも知れません。格式ふったり、偉ぶったり、するようなどころが無いのです。

国民はそろそろ自民党に飽きてきているの
です。政策的にはたいした落ち度もなくやっ
きているのですが、如何せん自民党の長引く政
権に国民はいささか食傷気味になってきてい
ます。加えて二大政党対立の時代になって、支
持率が伯仲して、政策的にも概ね共通点が多く、
政権交替がスムーズに行われるような素地は
出来上がりつつあるようです。自民、民主共に
大した相違点も無く、ここで民主党に代わって
もらいたいという願望が多くの国民にあるこ
とも事実です。

その民主党ですら残念な話で、金銭で人間性、
政治性を失った小沢代表に替った鳩山さんま
でが、最近になって政治資金規制法でまたまた
汚点をあらわにしてきて国民の期待を裏切っ
ています。鳩山さんは清潔なイメージがあつて、
何とかここを乗り切つていってもらわないと、

政治の世界が全くお先真っ暗という事になつ
てしまいます。幸い自己資金の処理を間違つた
というだけで、若干ほつとしています。戦後い
た社会党委員長の小沼稲次郎ではありません
が、城東の安アパートから国会に通う貧乏な政
治家が、庶民と、社会と、国と、世界のために
政治の舞台で活躍できる素地は日本にありま
す。国民の政治意識も高いし、これを最大限に
鼓舞できれば大したものです。

今の世の中は政治に金がかかりすぎると世間
一般の人も云うし、政治家自身が公然と云い切
つてはばかりません。しかし、本来、政治に金
は掛からないはずなのです。それが民主主義政治
の真価を発揮する所以だからです。人望が高け
れば、選挙民は高い意識を持っているので、無
記名投票によつて票は人望ある人に集まつて、
優秀な政治家が輩出されてきます。

努力して金を残すことは決して悪いことで

はありません。積極的に納税を果し、国家国民
のために大きく貢献しているからです。金を儲
けてこれを蓄積し、贅沢をしたければ商人にな
れば良いでしょう。政治家には清貧に甘んじ、
志を高く持つ人物が参加すべきです。そうでな
いと政治の世界の歯車は、円滑に大きく動き出
せないからです。これは国民にとつて不幸なこ
とです。

地方の県知事選や、市長選では、既に民主党
の支持率が自民を上回つて勝利を博していま
す。このままいくと、近々行われる東京都議選
において自民党は民主党に大敗して、民主党
が単独で議会の過半数を得て、実質、政権の座
に着くこともありうる雰囲気です。結果如何で
は、国政に与える影響も甚大なものがあります。
衆議院選挙となれば、自公と民主に対する国民
的人気は、いまや民主党のほうが有利に働いて
います。国民の厳正な審判が、下される時がま
じかに迫つていきます。くだらない不祥事を起こ

歴史上、私たちは幾多の事例を持つて政治の
善し悪しを勉強してきております。最近の大き
な出来事ですが、利権にまみれたグッシュが敗
れて、国民の忍耐と努力の結果でしようが、理
想高き貧乏人のオバマが、この困難な時代に努
めを果たしているではありませんか。軽薄な物
見高さからでなく、もつと地道に、真正面から
アメリカと、オバマを見なければいけないと思
います。

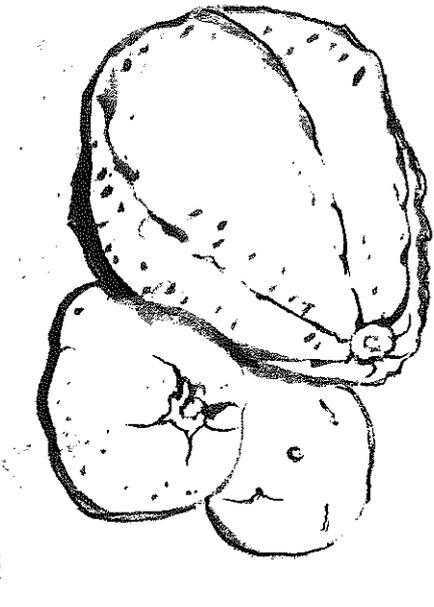
七月五日 記

私は先般のホームページで思いつくままに
五・七・五・七・七の短歌を以つて約二百首五
十程を詠んで載せました。一度にこんなに載せ

ると読みつかれてしまい、折角の名歌も台無し
じやないかと友人から忠告されてしまいました
だ。勿体ぶって、せめて二首か三首ぐらいにし
ておくとも備えて格好がいのになあとい
うのです。確かにそうだと思います。恐縮で
すが、辛抱してお読みいただけないでしょうか。
時間을掛けていただいてもいいのです。又、中
からどれか一首をご自由にとってお読みいた
だいてもいいのです。

私は、秋竹道人、会津八一の系統をひく同人
短歌誌、淵を編集発行しています。この同人
誌は隔月の発刊誌となっています。八一は「書
を書かせて日本一、和歌を詠ませて日本一」と
豪語してはばからなかつた程に、斯界随一の
物であることは間違ひありません。私も色々
文書を通して、畏敬の念を持つて時に勉強して
おります。淵は、その愛弟子の早稲田大学名譽
教授で文学博士の植田重雄先生が、六十年前に
創刊された短歌同人誌です。したがって会津八
一の滔々とした思いの、格調高い流れを継いで
いるといつても過言ではありません。又、植田
博士がすぐれた歌人であります。淵は、植田先
生亡きあと小職が引き継ぐことになってしま
つて今に至っております。私は若いときから和
歌を詠むのが趣味であり、生き甲斐であり、既
に仕事の一つと考えております。同人の方々
のためにも同人誌の権威と伝統を守り、将来に繋
げてゆきたいと思つています。勿論、己の世界

の思いを深くし切磋琢磨しています。蓋し、同
人誌は内容に於いて歌壇隨一を自負していま
す。
淵は六十年の歴史を有し今月だいま、第
百八十号を記念発刊するに至つて、その存在意
義も大きくこれからの歌壇、文壇に大きく貢献
してゆきたいと思つてゐるところです。



昭経俳壇

遠藤蘆穂

母の日に花がニユーヨークの娘より

三郎

若葉風じつぷりつかる露天風呂

卯波てふのれん懐かし小料理屋

稚児化粧くづれの覗く祭笠

冷奴すくふ女の手の白き

シヨウライトウ疾うに銀座は夏めきぬ

悟風

○五月雨や幽邃溪谷箒にこり

砂漠ゆくラクダの如し蟻の列

赤人の湯あみの滝やほととぎす

ポルト漕ぐ悌にも似たる百足かな

荒海雨や支流集めて天龍川

大滝の荒ぶる飛沫塵をうち

◎庭先を過ぐる江の電夏帽子

今生の夕焼に見惚るインカ旅

駄菓子屋の隅になつかし水中花

○万緑のそこだけ白きインカ跡

冷奴飽きて此の身も冷奴

◎瑠璃蜥蜴インカ廢墟の生け贄台

○大川の暖簾ばたばた泥鱧鍋

比企の山杉赤茶けて春来たる

ヒトツル
フエルト

復活祭女人懺悔し美しく去る

剣太郎

名刹の庭に紅白梅咲きぬ

国境線覆ふ地球のみどりかな

梅の郷ふりそで姿の野点かな

月皓々白きいや増す春の雪

○明月院朝昼夕の七変化

○露の蓋わが人生のほろにがき

雨蛙日陰で衣の早替り

油蟬赤子の夢を驚かし

縁子○父親の能書き長し鮎素麵

夏休み留守番役のランドセル

杉若葉北山寺は杉の中
どどど

軒先の捨て鉢哀れ恵み梅雨

子燕や口を四角にあけそひ

紺碧の空の恋しや梅雨曇り

田水張る腹をすりゆくつばめかな

○つばくらめ青空低しと右左

○虹仰ぎ鞍馬を下る修行僧

蝸牛貝殻一つホームレス

○花菖蒲くずれてわびし尼の寺

踊り子のゆれる乳房に白いバラ

鉦を見る横顔涼し京美人

悲しみを房にまどめて濃紫陽花

富貴男
囀りのかたまり空に消えにけり
長谷川

紫陽花の蓋から青へ染まる夜

阿蘇下り桜吹雪の熊本城

遠かっこう一本杉の黒き影

妻の炊く麦めしに亡き母思ふ

黒潮の南風の地引きや桂浜

ねぎ坊主飛行機雲の尾を曳きて

卯波立つ釣舟勇む朝ぼらけ

○花菖蒲尼寺賑はふ茶屋の端

阿蘇山の噴煙絶えず遠花火

若竹や大き古屋を改築し

○流し日の困扇にゆれる乳房かな

砂浜のなぎさに濡れつ盆踊

尾瀬沼の雨の洗礼水芭蕉山人

鎌倉の参道沿ひや夏夜店

後期随想

佐々木誠吾

政界の風雲急の日本にも民意をしめ

す時となるかも

怒涛よす自民と民主に伯仲す政権交

替のときはあらはに

地方選は民主の自民を凌駕して国政

選挙に与ふる力に

G 8 主要首脳会議に麻生首相が出席してい

るさなか、自民党内には解散か退陣かを云々し
て喧々譁々の様相であります。確かに各種世論
調査によると麻生内閣の支持率が急低下して、
政権交替が現実味を帯びてきました。国民も冷
静な判断をして、国家国民の将来をどの政党に
託したらいいか、その選択をすべき時期がまじ
かに、緊迫してきていることを自覚しています。
国内外に問題山積の今、政治家一人ひとりが切
磋琢磨して、国民の付託に応えるよう標をただ

して国政に望むべきであります。

先の大相撲夏場所十四日目の一番で、横綱・

白鵬が、大関・琴欧州に左上手出し放いで敗れ

た瞬間、三人の一敗同士の力士が首を並べまし

た。白鵬、朝青龍、そして期待の大関日馬富士

です。日馬富士はこのあと横綱・朝青龍との土

俵での対決が待っています。正に興奮さめやら

ぬ場面であります。

私はテレビの画面で、全勝の白鵬と琴欧州両

雄の繰り返す仕切りを食い入るように見つめ

ていました。両力士の心と体の様子が少しずつ

盛り上がってくるのが、手にとるように読みと

れます。外の緑濃い庭には、折しも夕方の薄日

がさして、蒸し暑かった一日が終ろうとしてい

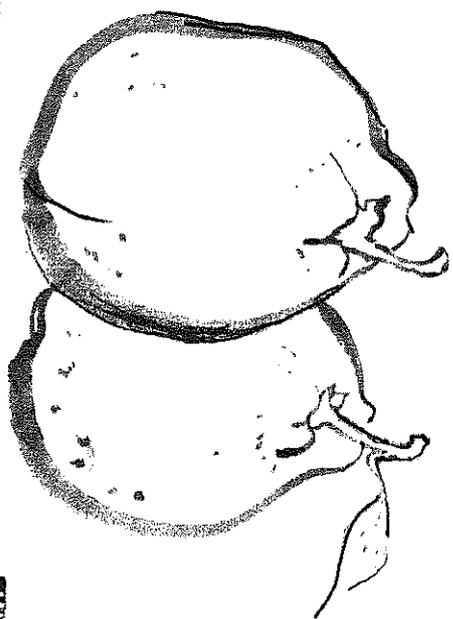
ました。

一番は、琴欧州が低い姿勢で充分の左上手を

取りました。琴欧州は腰をおとし白鵬の身体を

浮かせました。白鵬は上体を反らしながら右を

昨年彼が大関昇進の時、昭和経済の新年号に彼の人なりと、明るい将来について執筆したからであります。昭和経済にかような話題で記事を書いたのは初めてであり、大きな期待を寄せていただけに、その後の場所の対戦成績が気になつて、逆風となれば不肖の勝負運のこけんにもかわつてくるからでした。春場所の相撲にかつても実のところ、気になつて仕方がありませんでした。来場所の優勝をかけた勝負の取り組みは、朝青竜、白鵬の両横綱に、綱を賭けた大関の日馬富士が挑む展開となりそうです。



作品 関根常雄

差して捨て身のすくい投げを打ますが、腰が浮いて相手にききません。逆に琴欧州に上手投げを打ち返されて、土俵中央に横倒しとなつて反転しました。素早く勝負に打つて出た琴欧州の熱の入った作戦勝ちでした。土俵の観戦と熱気、期待と勝敗の結果は、歴史に、その思いをどどめる一戦でありました。

白鵬、琴欧州戦のまさかの勝敗に騒然とした場内ですが、そのざわめきはまだ収まっています。一番が終わったそんな中で、このあとには大関・日馬富士に初の優勝の賜盃をもたせたりやりたいと思ふ気がふつふつ湧いてきており、立行司・式守伊之助が中に入つて華

麗なさばきをつとめています。

制限時間がきて、両者とも最後の仕切りとなりました。腕を大きくあげて回しをたたき、合いを入れる横綱・朝青龍です。一方、赤房下で前こみに精神統一を図ろうとする大関・日馬富士。対照的な両力士の仕切りが一気に頂点に達してきました。筋骨隆々の、まさに金剛力士の気力横溢して緊迫した土俵上、火花を散らすにらみ合いが続いて、仕切りを終えて一気に立ち上がった両雄の、華麗ともいえる肉体の激突でした。……このあとの土俵上の激しい果たし合いは、皆さんのご想像に大まかせしませしょう。色々と想像して各位の好きな光景を描いて土俵を楽しむのも、興味津々として尽きないものがあると思います。

結果は、期待の日馬富士が初の優勝を決めてくれました。日馬富士の前途にこだわるのは、

日本の新幹線に、世界から熱い目が注がれて
います。意義深き且つ国益を重視した商議の成
功のためにも、当会は側面からこれを大きくバ
ックアップ、サポートしているところです。
想起すれば丁度二十五年前、一九八四年五月、
折りしも薫風そよぶなかを、私は社団法人昭和
経済会創立五十周年の記念行事の一として、
当会主催で四十一人からなる経済使節団を組
んで北京に渡りました。当会顧問だった参議院
議長の安井謙氏の親書を以って、中国との経済
交流促進の端緒を切り開く目的でありました。
当時、中国からは副主席の王躍庭氏一同の出迎
えを受け、中国国際貿易促進委員会の大会堂で、
両国の参加者が懇談しました。
北京では相互理解を深め、大なる成果を収め
てきましたが、そのことがつい最近のことのよ
うに思われてきます。今日の日中間の盛んな文

清新で大胆、規模壮大な国家プロジェクトの実
現に挑戦しようとしています。その一つ、鉄道
建設は、もともと新しい新たな永続的な雇用創出に
なるものでもあります。日本の意図はこれに
日本の新幹線の技術売り込みもうと云う商議
団を編成し、これをサポートするものでありま
す。関係各業界を代表するメンバーを側面から
サポートしようとするもので、当会の公益性を
大いに發揮して新幹線技術の現地での啓蒙啓
蒙に努力するものであります。
思うに、日本の新幹線については、国内での
新規建設は既に限界がきております。アメリカ
ばかりでなく世界各国からはクリン・エネル
ギの鉄道建設に熱い目が注がれており、世界
は日本の新幹線技術に大きく期待しています。
既に台湾には日本の技術が寄与して建設が完
成し、稼動していますが、この実績を踏まえ、
更に世界に市場を求め、高速鉄道建設の日本の
異名を世界に冠たるものとさせるべき絶好の

化交流と、拡大した規模の貿易関係、賢固な経
済関係をみると感無量であります。今日の中国
の経済発展を大観するとき、当時の中国は経済
の解放改革に躍起となって、国民に対して啓蒙
啓発していたときは隔世の感があります。今
や経済大国として、世界に躍進する中国の姿に
は驚嘆を覚えずには居られません。
ところでニューヨークでの商議団の使命と役
割、そして目的では、格別な思い入れがありま
す。新生を期すアメリカでは今、壊滅的な被害
を受けた経済立て直しに挑戦中ですが、オバマ
政権下で拡大する財政支出に呼応して、その一
端を荷負う鉄道建設計画が、大いに注目され、
水面下で先進各国の熾烈な受注獲得作戦がひ
そかに繰り広げられています。
ニューヨークから周辺都市はもとより、内陸
部への高速鉄道を建設して、アメリカは新社会
の構築に臨もうとしています。画期的とも云う
べきオバマ新大統領の誕生で、アメリカ再生の

チャンスであります。高速鉄道の売込みでは既
に、フランス、ドイツなどが競合する相手とし
てのぎを削っているのが実情です。日本独自
の優秀な技術と性能を訴え、先ずはアメリカへ
の売込みに優位に立たねばなりません。しかも
鉄道は永続性があり、世紀にまたいで存続活躍
するもので、尚更その意義は大きいものといわ
ねばなりません。信用と真価を収めつつ、更に
は広大な平地を持つ中国大陸、アメリカ等、こ
れからの開拓余地は計り知れません。平和な新
幹線外交が開かれてきます。成果を挙げるべく
奮起奮闘する所以であります。

出張からの帰国後、植田重彦、いづみ夫妻か
ら小職に小冊が届いていました。早稲田大学名
誉教授で歌人の植田重雄先生が若き頃に詠ま
れた歌集で、初期の作品『鎮魂歌』であります。
既に三冊しかなく、随所に先生の書き込みがあ
ったりするので、いづみさんが一枚一枚これを

綺麗にコピーして新しいものとして手作りのまま送ってきて下さいました。深い朱鷺色の表紙にも、深い思いがこめられています。心のこもった丁寧な贈り物に感謝しています。

「鎮魂歌」の序文に歌人の窪田空穂先生と、都筑省吾先生が執筆されて目を魅きました。窪田先生とは面識がありませんが、都筑先生とは語り尽せない程の教々の思い出があります。都築先生は当時、短歌結社、「榎の木」の主宰者であり、私は学院時代の二年間先生の教鞭に浴しました。当時既に高令な先生には云い知れぬ風格があつて、院長の竹野長次先生を始め、檜山欽四郎先生、文芸評論家の浅見淵先生と同様、私は畏敬の念を以つて接し、授業に出ていました。社会に出てからも親しく時候の文を取交わしていましたが、十年ほど前に九十七歳で天に召されました。あの学院当時の頃、植田重雄先生は若千二十才前半の頃の青年教師だつたわけでありませぬ。

表紙絵のことば 伊能忠敬旧宅

関根常雄

今年の五月十九日「しようわ友の会」が行つた日帰り旅行に参加して参りました。風情ある町並みの「小江戸佐原めぐり」の旅です。さきに成田山新勝寺を参拝し、健康と家内安全、商売繁栄をお願ひして参りました。小江戸と聞いただけで、大江戸も知らない人でも一つのロマンを感じさせてくれます。旅の楽しさはそんなところにあるのでしょうか。懐かしさを感じるのです。

案内によりますと、江戸時代、米や、海産物を送る河川交通の中継地として発達し、利根川流域に「ながり、醤油、味噌など醸造業の発展」とあいまつて、水運の至便さなど好条件を背景に、大いに繁栄したそうです。今、残されて居る三菱館、伊能忠敬旧宅、小堀屋本店や綱寿司

「遺族の、いづみさんから頂いた先生の歌集、鎮魂歌をこれからじっくりと読んでいきたいと思つております。

複製す鎮魂歌集の手作りを手に先達の
みたまやすきを

など土蔵造りが江戸の風情を漂わせてくれます。

今回の表紙絵は、旧伊能忠敬宅を描いてみました。伊能忠敬は、ここで申し上げるまでもありませんが、日本で初めての実測による全国地図を作つた人で、延享二年（一七四五）に上総国山辺小関村（九十九里）で生れました。その後、下総国香取郡佐原村の伊能家へ婿に入りますが、その時、忠敬は十七才、妻ミチは二十二才でした。

当時の伊能家は、米買や、酒造りなどを営む大きな商家で佐原村本宿組の名主を務める家柄でした。もともと学問が好きだつた忠敬は、家業の合間に天文暦学の勉強を続け、四十九才で隱居してからは、江戸へ出て本格的に勉強を始めました。そして、五十五才から十回にわたつて、全国測量を行いました。その間に歩いた距離は約三万五千里、地球一周分にもなるそうです。測量成果は「大日本沿海輿地全図」として

て結実しますが、それは七十三才で忠敬が亡くなった三年後のことだったので、これは弟の努力によるものであります。偉大な遺業の地を訪ねて、私はさらに感動しました。今現在、世田谷松原に、伊能家七代目がお住まいになって居られます。この方とは不思議な縁が有りまして、伊能さんは絵描きさんなので、今までも顔を含むことはなく、個展でお互いの絵を見せ合っているという間柄なのです。その仲を取り持つて下さる方は、俳句の先生で、横山草雨世先生と申しまして、伊能さんの御母堂の俳句の師匠にあたる方なので、とここで横山さんと私は四十年來のお付き合いをさせて頂いております。

野村證券株式会社 顧問

法学博士 高木 新一郎

元・東京高等裁判所 判事
産業再生機構委員長
昭和经济会理事

仕事後は、錫ショットでサ・プレミアム・モルツ
プリント銀座松屋通り店
株式会社 谷口コーポレーション
谷口 八 稜
中央区銀座三十七番一三
電話 三五六三二〇二一

〒133 0661 江戸川区北小岩六一〇一三
電話 (三六七二) 三五九〇
FAX (三六七二) 三五九九

人財育成コンサルタント
サン・レイキヒリックグループ
株式会社 井浦コンソーシオンセンター
代表取締役 井浦 康之 (理事)

一般建築士事務所登録 第121777号
神奈川県知事登録
建設業者登録 第65628号
神奈川県知事許可 (般-13)

(株)EVA

滝本 学

〒231-0862
横浜市中区山手町27-5
ベイスターズ元町101
TEL 045-663-0061
FAX 045-663-0761

昭和经济 第六巻
平成二十二年 七月 一日 発行
平成二十二年 六月 二十六日 印刷
編集人 兼 発行人 佐々木 誠 吾
印刷所 日本印刷株式会社
発行所 昭和经济会
事務局 〒204-0806 東京都中央区八重洲二丁目二
TEL (六六二〇) 六〇〇〇番
FAX (三三七二) 三〇〇四番
e-mail info@showa-ec.or.jp
http://www.showa-ec.or.jp/

〒100-0006 千代田区有楽町一丁目1番11号
 新有楽ビル十階十三号
 TEL 〇三三三二四一六〇八二

弁護士 富田純 司

平和と自由を標榜する会の発展は
 世界につながる

頭金⁰の公的資金利用の賃貸住宅建設

35年間一括借上げ方式
 先の見える安定収入でご安心
 どんな委細な事でもご相談下さい。

ササビ・エヌ・コーポレーション

企画・設計・施工（一般建築士事務所）
 東京都 医師協同組合連合会 指定

会長 中村 節 誠 (理事)
 社長 中村 誠

〒105-0004 東京都港区新橋4-29-6 寺田ビル6F
 TEL 03-3436-0056(代) FAX 03-3436-6725
 ホームページ: <http://www.asahicop.com>

中央建設はこんな会社です

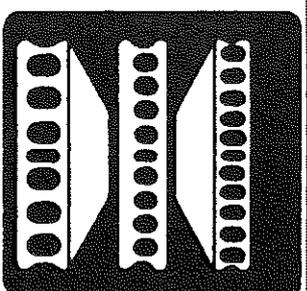
暑中お見舞い申し上げます

8月で創立60年を迎えます。60年間のお引立てとご支援に心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

取締役社長 清水 侃治 (理事)
 一般建築士
 ホームページで弊社をご覧下さい
<http://www.chuou-kensetu.co.jp>

中央建設株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北2-3-2
 ☎(03)3261-4201(代)



建築・土木用床材・壁板に完全活用
 ㈱スパンクリートコーポレーション
 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-25
 TEL 5689-6311(代)

会長 村山好弘 (理事)



T O K Y O S E N K O

ADVERTISING
 SALES PROMOTION
 PLANNING
 DESIGN

代表取締役会長

鈴木喜佐人

Kisato Suzuki

AD AGENCY 広告・販売促進/企画・制作

株式会社 東京宣広

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町1番地 新高ビル9F
 TEL 03-3267-5531 FAX 03-3267-5534
 HP 090-2143-7111
 e-mail suzuki@tokyosenko.co.jp

415 E. 37th St. Apt 14F
 New York, NY 10016

ミンコ 岩本

漢詩を作ろう (漢詩実作教室)

野田 尚
 昭和経済会・常任理事

最初はとっつきにくいですが、日本語のルーツに触れるのは楽しいことです。漢詩は短いので、文法・文脈の説明と実作の指導を受ければ間もなく出来るようになります。私も伊森東風先生のもとで指導を受けています。

原則として第2日曜日午後1時から3時間位、千駄ヶ谷駅近くで指導があります。

連絡先
 (野田) 船橋市西船3-6-8
 TEL: 047-431-5339
 (伊森) TEL: 03-3384-0287

税理士法人 日本橋税経センタ1

税理士 板橋 則 雄

〒103 0013 中央区日本橋人形町二ノ二六ノ八
 サンマルコビル十階
 TEL 〇三三三六二一七七〇一

